京城日報
二十日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)
京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社

●モンゴルブウリア騎隊 ケ中尉來朝
反過激派總指揮官より重要任務を帶て

モンゴルブウリア騎隊の中尉ケブチエンコ氏は西比利亞に於ける反過激派の總指揮官シメニヨフ大佐より重要の任務を帶び目下來朝東京滯在中なるが同氏の任務遂行と共に西比利亞に於ける哥薩克の活動は注目に値すべしと(東京特電)

●獨逸自由行動保留
獨ト外相の宣言を休戰條約廢棄と認む

トロツキー外相の講和條約を締結し得ずとの宣言に對し獨逸政府は是れを以て休戰條約廢棄の通知と認め「二月二十日より七日以內に於て獨逸は全然行動の自由を保留する旨」を十六日附にて公表し同時に在露都同國代表者は本國へ向け召喚せられたり(ストツクホルム電報)

●英參謀總長更迭
後任はサー、ヘンリー、ウイルソン中將

英國參謀總長サー、ウイリアム、ロバートソン大將は愈々辭職しサー、ヘンリー、ウイルソン中將後任となれりロバートソン將軍の辭職は將軍が佛國に於る聯合軍事會議に英國側代表たるを肯ぜず其新協定に甘んぜざるによれり

●敵艦隊英船擊沈

海軍省公報に(東京特電)曰く「敵軍大驅逐艦數隻より成る一部艦隊は十五日午前一時ドウア海峽の我偵察隊を突然襲擊し抓柄潛水艇を搜索中なりしトロール船一隻及び其の他の船舶七隻を擊沈したるが我艦隊の追擊に先ち北方に遁げ去れり」(倫敦電報)

●總督筆墨料下附

長谷川總督は既報の如く十九日午後二時より釜屋武官、神田秘書官を隨へ京城高等普通學校を巡覽したるが其の際教育成績の良好なるを喜び烈風砂塵を推し中を運動場に立ちて熱心に生徒の教練を參觀するなど頗る滿足の模樣にて各生徒に對し筆墨料若干を下附せりと

●李王(德壽宮)問安

李王同妃兩殿下には二十日午前十一時昌德宮御出門德壽宮御訪問咸寧殿に於て李太王殿下に御對顏御問安あり午後三時德壽宮御發還宮あり

●王公家軌範制定に就て

國分李王職次官談

王公家軌範は紀元節を過ぐるも尚發布されず或は同軌範發布の儀は見合せとなりたるに非ずやとの說あるに對し國分李王職次官は語つて曰く王公家軌範制定に就ては樞密院に於ても數回に亘りて委員會を開かれ審議

▼非常に進捗し 居れるを以て今更見合せとなる筈なし唯委員長たる伊東巳代治子の病氣、委員たる蜂須賀侯の薨去等の關係より審議上故障を生じ一時最後の決裁を延期したりと云ふに過ぎず元來王公家軌範は李王家並に其御一族の永世搖ぎなき

▼御繁榮の基礎 となるべきものにして其の必要を認めたればこそ制定を決したるものにして今更取止めとなるべき理由なく如何なる事情あるとも今月中には發布の運びに立到るべし

●書堂規則發布

二十一日府令を以て書堂規則を發布即日施行さるべきが右は全文六條より成り其要旨は從來書堂に關しては其教育の現狀に對し急劇の改善を加ふるを避け來りしも近時書堂にして漢文の外普通學科を授くるものあり其等取締の必要を生じたるを以て簡易なる規則を設けて監督を爲さんとするものにして之に關する訓令も同時に發布さる可し

●上半貿易

會計八百二十六萬餘圓 前年同期に比して激增

二月上旬に於ける朝鮮貿易は輸移出品價額四百七十三萬九千百三十八圓、輸移入三百五十二萬二千九百五十三圓合計八百二十六萬二千九十一圓にして百二十一萬六千百八十五圓の輸移出超過を示せるが

▲輸移出超過を示せるが之を前年同期に於ける貿易額に比するに輸移出百九十八萬八千四百五十三圓、輸移入百五萬一千二百四十五圓合計三百三萬九千六百九十八圓の增加なりとす而して一月以降の累計に於て本年を以て前年同期に比較するに實に左の如く一千百四十萬五千二百六十九圓の激增を告げたり

▲一月以降貿易累計(圓單位)

	本年	前年
輸移出品價額	一四、四九一、一六〇	八、八六五、八九〇
輸移入品價額	一三、九六五、六二三	七、一四五、六九八
合計	二七、四五六、七八三	一六、〇一一、五八八
輸移出超過額	五二五、五三七	一、七二〇、一九二

更らに輸移出入重要品價額を檢するに輸移出品としては金、鑛汰鑛、牛皮、皮革製品輸移入に於て

▲毛織物絹織物 生皮及熟皮、叺繩等の不振なる外叺繩は鮮地生產品を以て移入を防遏したるを見るも他は孰れも前年に比し增進著しきを見る其品目別價額如左

▲主要輸移出品價額(圓單位)

▲米 一、九四四、一五二(一月以降累計六、二三八、三九九)▲豆類 五四一、八六六(同二、一二〇、七一七)▲魚類 六九、三〇五(同三四〇、八一二)▲綿花 六六〇、九〇八(同一、四七六、一七二)▲金巾及び洋織 二、八四六七▲重石 八八、五一九▲黑鉛 二、九五四▲含金銀及び粗鑛 一五二二四(同七五九、六二二)▲朝鮮及び雜 一七、九六〇(同三八三、七六〇)▲牛皮 一七、五七〇(二七〇、四〇九)▲煙草 五三、二〇〇▲生牛 四八、七五四▲肥料 四三、六三九

▲主要輸移入品價額(圓單位)

▲米 二二、七三四▲粟 五四、九四八▲小麥粉 五八、四八三▲食鹽 二〇、九八六▲砂糖 一〇二、〇三〇▲燒酒 三五、九〇〇▲石油 一六、三〇二▲綿絲及び打綿 九六、二四〇▲生金巾類 七八、七四八▲日本木綿 一二四、〇八五▲紙 一五五、一三〇▲鐵類 一六五、九四〇▲諸器械類 四七一、九五七▲石炭 五八、一六八九七▲木材及び板 八一、六六一▲セメント 二八、五〇二

▲金貨及び地金 尚金銀貨及び金銀地金の輸移出額は金貨及び金地金五萬六千八百廿四圓銀貨及銀地金無し同輸移入は九千四百六十八圓銀貨及び銀地金二十五萬九千七百二圓合計二十六萬九千二百圓にして是等一月以降の累計は輸移出に於て金貨及び金地金四十五萬九千六百六十九圓銀貨及び銀地金無し輸移入金貨及び金地金三萬二千百九十八圓、同銀貨及び銀地金二十六萬八千百五十二圓合計三十萬三百五十圓なりとす

●府豫算編成難
下水工事と學校問題

京城府にては目下大正七年度豫算編成中なるが昨年中奔騰に奔騰を重ねし諸物價其の他の關係に據る一般府民の生活狀態等に基因し府財源は窮乏を告げ之れが編成に著るしき苦痛を訴へ居れるが京城府に於ける大正七年度事業の主なるものは下水工事にて國庫及び地方費の補助額を控除しても尚五六萬圓は當然府の負擔となるべく又近年就學兒童の激增に之が爲め收容難を訴へ組合區域外通學兒童の一部に對する處置上組合の問題を惹起せし程にて又一面近郊面の一部を京城學校組合區域內に編入すと言ふが如きも法令の一部に改正を要する等の關係上俄に實行する能はず、而かも近郊面に於て學校を建設する事も地方民の負擔能力上困難なる事に屬するものと言ふべく結局京城學校組合に於て小學校の新築若しくは增築を必要とすべき有樣なれども當組合員の負擔能力と物價騰貴等の關係に由り差したる增率を見ざる現況に在れば府及び學校組合豫算の編成は益々困難とされるものなり就學兒童の激增は誠に慶ぶべき現象なるが之れに就いても第一の緊要事は財源涵養の一事なりと某當局者は語れり

●鮮滿の財界と鮮銀
於株主總會美濃部總裁の演說(承前)

▲業務の概況 朝鮮及び滿洲に於ける一般經濟の狀況以上の如し此間に處して當行の業務が如何なる狀況を呈したるや之が說述に移るに當り各位に報告せざるべからざるは當行が橫濱正金銀行の滿洲に於ける業務の一部を繼承したること是なり抑當行の發行する銀行券は夙に滿洲各地に流通しつゝありしも其流通たる一に當行の信用に基くものにして法律上に何等の根據あるにあらざりしが今回當行券は關東州及び南滿洲鐵道附屬地に於て公私一切の取引に無制限の通用力を附與せられ同時に從來橫濱正金銀行が同地に於て發行したる金券は同行より當行に引繼ぐことに決定せられ當行は十二月一日を以て其總額四百五十三萬八千三百四十圓の引繼を受けたり此結果今後滿洲に流通すべき我金券は當行銀行券を以て統一せらるゝこととなれり又從來橫濱正金銀行の取扱に係る大連本金庫事務は十二月三十一日を限り當行に移管を受け同時に同金庫所屬の支金庫若は派出所として其事務を取扱たる同行の旅順遼陽鐵嶺及び安東縣の四支店を讓受くることに決したり茲に於て滿洲に於ける當行の業務は俄に多忙を致さんとし其地位亦一段の重きを加へたり

▲支店の增設 我朝鮮及び滿洲は青島の先年我手中に歸せし以來之と自然密接なる經濟關係を生ずるに至り相互の間金融上の連絡を採ること最も急務なるを認めたるを以て十月同地に支店を開設し又奉天は當時鐵道附屬地に於て其發展顯著なるものあり從て同方面に對する奉天支店の取引關係倍密を加ふるに至りたるが故に取引先の便を圖り十一月同地新市街に派出所を新設したり依て當行の營業所總數は本店の外二十八店を算するに至れり

▲預金及貸出金 當季末の預金は總額八千八百四十一萬三千百七十二圓を示し前季末に比するときは四千八十八萬百七十四圓前年同季末に比するときは五千五百三十七萬九千九百六十二圓を增加し又當季末の貸出金は總額一億二千二百七十八萬四千七百七十四圓にして前季末に比し五千六百四十八萬三千三百四圓前同季末に比し六千三百二十九萬七千四百八十九圓の增加を示したり如斯預金及び貸出金の增進顯著なりしは空前の現象にして之れ內外財界の好調に伴ひ業務著しく伸張せるに因る殊に對支借款に對しては大正五年六月奉天財政廳に對し貸出を始とし爾來聊か力を盡す所ありしが當季中に於て新に同借款に投資したるもの八百三十四萬六千圓を計上せり

▲外國爲替の賣買 當季間に於ける本業務は賣爲替に於て一千五百三十三萬三百十一圓、買爲替に於て一千九百九十八萬六千百三十六圓に上り比年順調なる發達を呈せり

▲銀行券發行 當季の銀行券發行高は十二月二十九日に於ける六千八百十一萬二千二百八十九圓を最高とし七月一日に於ける三千九百八十九萬三千七百八十圓を最低とす而して季末に於ける發行高は六千七百三十六萬四千九百四十九圓にして前季末に比し二千七十三萬七千八百六十七圓前年同季末に比し二千七百二十四萬七千百三十九圓の增加を示したり右は前述べたるが如き財界好況の結果に外ならずと雖亦當季新に滿洲に於ける橫濱正金銀行の金券を承繼したるに因る而して此等の因由は自然保證準備制限外發行を餘儀なくせしめ遂に十二月一日に於て百二十一萬七千二百八十二圓の發行を見たり之を當行制限外發行の嚆矢とし其額當季末に於て九百九十九萬七千四百七圓に達したり

▲國庫事務 當季間に於ける國庫金受入總額は一億七千六百四十五萬九千五百五圓拂出金總額は一億七千百八十萬六千二百二十八圓にして此內地との間に於ける同金の受入金額三百三十四萬四千七百七十七圓拂出額は一千七百七十七萬五千五百八十七圓を示し其對市場受拂は一千二百七萬五千百六十四圓の受入超過となれり

▲舊韓國補助貨整理事務 當季間に於ける舊韓國補助貨の內地回送高は一萬一千八百六十七圓にして內地より回送を受けたる帝國補助貨は十四萬四千五百圓外に同小額紙幣三十萬二百圓あり

▲產金收入業務 朝鮮の採金業は時局以來爆藥藥品其他諸材料の騰貴に依る精錬の不引合他鑛業の隆盛に伴ふ鑛夫の缺乏等諸種の原因に基き甚だ不振勝にして其產出額大に減少せるを以て當行本業務も自然之が爲に影響を蒙りしのみならず滿洲產金の買入も銀相場高の爲め亦意の如くならざりしかば當行當季の產金收入高は前年同季に比較するときは著しき減少を呈せざるを得ざりし所にして其收入純金量目は七百八十貫二十七匁九分七厘其價額三百九十萬百三十六圓十五錢に止まれり而して內朝鮮に於ける取入高は純金量目七百三十一貫十一匁九分五厘價額三百六十五萬五千五百十九圓七十五錢なり要之當行は前記の如き經濟界の大勢に應じ之を內にしては專ら金融の調節を計り產業の振興を幫助し特に勃興の氣運に乘じつゝある各種事業に向ては直接間接之が助長に力を致し之を外にしては前來の方針に則り倍其施設を擴充し內外對應して業務上遺漏なからむことを念とし而して以上條陳するが如く財界の好況と相俟て引續き好成績を擧げ其純益金は八十九萬二千二百二十九圓二十八錢を算し前季に比し二十八萬一千百九十一圓二十八錢の增加を示したるは株主各位と共に欣幸とする所なり(完)

●暗礁發見

朝鮮西南岸忠淸南道安眠島附近に於て海圖に記載無き暗礁發見したる內詳細は二十日官報を以て告示するべし

●貨車十輛竣成

滿鐵京城管理局にては過般來草梁分工場にて有蓋貨車五十輛を製作中の處二十六輛竣成し十輛去る十五日竣成したるを以て累計四十輛竣成せり

●照川小學校設立 照川公立尋常小學校の設立は本月十四日附を以て其筋より認可ありたるが其の位置は平安北道照川郡邑內面邑下洞なりと

●鮮銀券發行週報

朝鮮銀行券發行の二月十日より十六日に至る一週平均高は六千零四十三萬一千六百九十一圓にして例年の如く漸次減少の傾向なり

●片山理事任命

朝鮮銀行第十七期定時總會に於て理事一名增員に付片山繁雄濱口吉右衛門兩氏を選擧せし事は東電の如きが長谷川總督は十八日附片山繁雄氏に對し理事の任命をなせり

●諏訪氏榮轉

大阪商船會社仁川支店長諏訪體次郎氏は同社門司下の關支店長に榮轉したり後任は釜山支店宮地時彥氏なり

●立花師團長動靜

各部隊視察の途に在る第十九師團長立花小一郎氏は豫定の如く十九日午後釜山發二十日朝南大門驛著小憩の上直ちに北行列車に搭乘平壤に向ひたるが二十二日龍岡一泊の上二十三日平壤に引返し廿四日午後七時十四分龍山著列車にて歸任

●秋山長官入京延期

秋山遞信局長官は東京より歸任の途次二十六日入京の豫定なりしも都合に依り出發延期の旨總督府へ電報ありたり

●國澤理事長歸連

滿鐵理事長國澤新兵衛氏は十九日下關出帆哈爾賓丸に乘船大連に向ひたり

●中村檢事長出張

京城覆審法院中村檢事長は二十一日午前八時四十分發事務視察の爲め公州及び淸州へ出張の筈なるが二十七日歸任すべし

●父の死は夢の樣です
＝押川長官令息淚を呑みつゝ＝

噫責任觀念の强き長官は遂に自決せるか

十九日夜十一時半大阪通過東上の途に就ける八幡製鐵所次長服部漸氏は曰く『押川長官の自殺は某方面に關する問題にして右は責任觀念の强き長官の事とて自決せられしものならんと想像さる此際談話を避けたし』と語れり偶ま同列車には押川氏令息一郎氏も在り同じく東上中にて一郎氏は高等學校の制服の儘悄然として寢臺に橫はり居しが記者の挨拶に應じて曰く『父が死んだとは……夢の樣です……』と語り終へて淚を呑める態、實に同情に堪へざりき(大阪特電)

●高橋武官除服

服忌引籠中なる總督附武官高橋少將は來る二十一日より除服出仕す可し

●支那交通部員入京

支那交通部派遣員一行十一名及び從者三名は二十日朝南大門驛著列車にて入京直ちに朝鮮ホテルに投宿せるが一行の中主なる部員は午前中總督府を訪問し午後は一同龍山滿鐵京城管理局を見學せり尙一行は當地二泊の上仁川同地一泊釜山に赴き平壤を經て廿八日歸國の途に就く可し

●室谷衞戍病院長東上

京城衞戍病院長室谷脩太郎博士は來る二十六日より東京陸軍省に於て開催の全國衞戍病院長(二等以上)會議列席の爲十九日朝龍山發列車にて東上せるが歸任期は三月九日の豫定なりと

●今關氏講演

總督府囑託今關天彭氏は二十一日午後七時より京城倶樂部に於て支那文藝十講の內三講道教に關し講演を爲す筈

通信 ＝群山＝

▲印刷社創立 群山に於ける現在の兩印刷所を合併し群山印刷株式會社創立に決し直ちに認可申請の手續を了し昨年十一月中當局の認可を得たるは當時所報の如くなるが右は資本金六萬圓[illegible]一千二百株の內發起人九名にて七百株を贊成人(三十四名)に割當る事とし工場事務所は之を全部新築することに內定し居れりと▲電燈動力供給 群山電氣株式會社にては戰亂後漸次石油昂騰を見昨年中復た油價の著しき昂騰を告たる影響として市內點燈電力の供給增加し現今に於ては三千二百燈を供給しつゝあり此の機會に於て同社は營業の發展を期すべく既に昨年中市內精米所其他に夜間動力の供給を開始し現在動力用として十三馬力を供給しつゝあるが近く晝間動力供給を開始する事に決し既に現在精米其他工業の晝間動力供給豫約申込は約七十馬力に達したりと

通信 ＝光州＝

▲勸業技術員會議 全南勸業技術員會議は十八日より道廳內光山館に於て開會出席者六十名宮木道長官以下各部主任等臨席廿四日迄引續き開會さるべし▲二宮署長着任 新任光州警察署長二宮恒藏氏は十八日午後二時家族同伴著任官民の出迎多く賑へり又鈴木新任春川署長は事務引繼の上二十一日光州發赴任すべし▲小學校增築 四月の新學期に於て新入學生七十餘名の增加を見るべき光州小學校には收容教室不足を告げ居るを以て今回教室の增築中なるが本月上旬より請負競爭入札を施行し三月中旬を以て竣功すべしと▲全南海苔狀況 全南光陽、長興、莞島三郡に產する海苔は其年額十五萬圓に達せるが本期海苔の漁付狀況は至極豐富なるも降雨無き爲め淡水不足し海苔の色澤惡しく品質稍不落したるが本期より新たに施行さるゝ海苔製品檢查の爲め品物一定し從來の如く甚だしき粗惡品混入せざるに依り商人側も安心して取引するに至れるが目下各郡の共同販賣價格は不均一等品百枚六十五錢二等品五十五錢三等品四十五錢四等品三十五錢にて下等品は判合彰なく各等を平均して五十錢位にて取引され重に釜山へ搬出さるゝ狀況にて目下製造は最盛期に在りこれより神戸大阪へ移出さる

人事消息

▲松永京畿道長官 開城へ出張中のところ十九日夜歸京
▲大田三郎氏(鮮銀理事) 東上せりと報ずるものあれど右は虛報なり

彼れ此れ

◆久しく其所在不明なりし支那當代隨一の文豪章炳麟、劍氣張る巴蜀の山容水色に憧てか、際然として、現はれ來ると報せらる白髮の文豪の活躍や如何。

◆米國にては、米食獎勵の結果婚禮に白米を、投ずるを禁せり。其は近時ザ、ステツク、ホテルに於て、五日續きに、六組の婚禮あり際、投せられし白米の、五分量多なりしが爲め、政府は直に、米を投げるな、食料を節約して、戰勝を占めよ、と一般に警告を發せしによるもの。戰爭に對する、米國の注意想ふべし。

◆過激派外相としての立役者、トロツキー程、種々の評ある男は少かるべし。或者は、彼は無學なる一勞働者より出身せりと云ひ、或者は、彼は學者として、恐らく世界屈指の者也。其博識と辯力は接する者を驚歎せしむと云ふ。斯る男をこそ、化物男と謂ふべけれ。

朝鮮銀行 第拾七期決算報告(大正六年下半季)

貸借對照表

科目	金額
資本金	貳〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	壹、六八〇、〇〇〇、〇〇
銀行券發行高	六七、參六四、九四九、五〇
仕拂手形振出高	八參參、四貳〇、〇〇
政府預金	[illegible]
預リ金	八八、四壹參、壹七貳、參八
仕拂爲替手形	[illegible]
借入金	[illegible]
他店ヨリ借	[illegible]
松田銀行部ヨリ借	[illegible]
本支店未達勘定	[illegible]
仕拂未濟配當金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]
拂込未濟資本金	[illegible]
政府貸下金	[illegible]
定期貸	[illegible]
當座貸越	[illegible]
割引手形	[illegible]
荷爲替手形	[illegible]
利付爲替手形	[illegible]
別途貸付金	[illegible]
假拂金	[illegible]
買入爲替	[illegible]
公債及債券	[illegible]
他店へ貸	六、四參八、八貳四、〇七
松田銀行部へ貸	[illegible]
地所建物什器	[illegible]
新築	[illegible]
外國貨幣	[illegible]
地金銀	[illegible]
金銀有高	[illegible]
合計	[illegible]

損益

一金六百六拾六萬壹千貳拾七圓 當期總益金
一金[illegible] 當期總損金
差引 金八拾九萬貳千貳百貳拾九圓貳拾八錢 當期純益金
外 金貳拾參萬七千九百七拾八圓 前期繰越金
合計 金百拾參萬[illegible]
內
金貳拾萬圓 損失補塡準備金
金[illegible] 配當平均準備金
金[illegible] 役員賞與金及交際費
金[illegible] 舊株配當金(年一割二分)
金[illegible] 新株配當金
金[illegible] 後期繰越金

右之通候也
大正七年二月

朝鮮銀行
總裁 美濃部俊吉
理事 三島太郎
理事 木村雄次郎
理事 大田三郎

前記各項ノ調査ヲ遂ゲ其正確ナルコトヲ認ム

監事 伊藤長次郎
監事 服部金太郎

十一月一日現行

●粗製燐寸が宙に迷ふ

浦鹽原木が日本燐寸の生命
トラストを作つて新に支那、南洋方面に發展せんとする燐寸業者

朝鮮及で滿洲に於ける燐寸製造業は新に旺んならんとしつゝ有るが需要の多い

▽燐寸を植民地 に於て自給すると言ふ事は誠に結構な事であると思ふ內地に於ける燐寸の需要を見るに職工の賃金は從來となり販路即ち一律に就いて昨年の最高値より約三割パラヒンは昨年十二月までの契約が一磅ず六錢であつたのが突然本月に入つてから五錢騰貴した、軸木材は輸送貨が暴騰したるに拘はらず北滿鐵道に木材が缺乏したから止なく

▽浦鹽原木に依 つて日本に於ける燐寸の生命を支持してるるが此又素敵な高相場であるから製品の相場は騰貴する一方、一時は同業者中にも心配するものもあつたが最近南洋アメリカ方面から盛んな註文が來るため息を吹き返して今では寧ろ製造能率の少いのに手を燒いて居る位ゐである輸出が斯く盛んになる一方粗製濫造は免れない、一時は

▽中身に不發火 の燐寸を詰め込んで輸出したり、惡辣なのになると全く藥品さへついて居ないものを貼りつけたりしたもので今でも斯る不正商人と印度人との間に十萬圓以上の品物が宙に迷ふてゐるのさへある、同業者の中に恁んな人物が在ると他のものが非常に迷惑する許りでない日本の體面に係ると言ふので阪神及び名古屋商品等各地の同業者は農商務省監督の下に

▽輸出品の檢査 を施行する事にして居るが其結果は頗る良好で漸次信用を恢復しつゝある、戰後燐寸工業の有利な事を知つて內地は言ふに及ばず支那方面にも旺んに企業され最近東洋燐寸は四百萬圓の資本を提げて帝國燐寸の百萬圓と合併し更らに清島燐寸をも手に入れて各方面に活動を開始し阿部孝氏の系統で池田精次郎が取締役となり東亞燐寸を起し

▽天津と奉天に 製造工場を設ける拵へトラストに依つて大陸に發展しやうとするものがあるから之が對抗上日本燐寸は近く五百萬圓に增資し其他にも同業者の連盟を作つて此等トラストに對抗すべく目下畫策中のものが多い狀態であるから今後燐寸トラストは各方面に起され曩て東洋は此等の

▽トラストの角 逐場となり華々しい活氣を呈する事であらうと思はれる、斯る趨勢の下にある朝鮮の燐寸製造業は各トラストの轉製盤ならざる裡に鞏固な根據を作つて彼等の侵入を防ぐ位ゐにせねばならぬ（實業顯文家氏談）

●水島高商長蘇生す
發喪を控へてる內に

既報水島神戸高等商業學校長は訃音のみにて喪を發せざりし處其後に再び蘇生其後容態を持返し稍々良好なりと（神戸特電）

●風浪のため岩に乗上げて
＝汝海津で轉覆した艀舟＝

十九日朝北汝海津に於て艀舟の顚覆せる報に就ては元山電報にて朝刊に報じたる所なるが右に付鮮鐵將南の吉川事務所に達せる詳報は左の如し

十九日朝京畿丸は汝海津に入港乘客約二十名と貨物を卸し直ちに北行した、乃で乘客の約二十名は艀舟に乘り水夫は陸に向つて漕いで行つた、元來汝海津は頗る

◆艀附の惡い 港で陸岸近くに大きな岩が二つばかり出てゐる間を艀舟は通つて行かねばならぬ、そこで件の艀舟が岩の間をぬける時風が烈しく波が荒かつたため一方の岩に乘り揚げ顚覆したものと見ゆる、そのために乘客の約半數は海中に轉落し半數は舟や岩に取付いてゐる內

◆救助船が 行つたらしいです遭難の場所は京日の元山電報には本船から艀舟に移乘せんとする際とありましたが事實は陸に一町ばかりしかない岩の間です若し本船より艀舟に移乘の際だと沖合一里位の距離ですから其救助は至難でしたらう唯此の顚覆のため一名の

◆婦人乘客 と水夫を失つたとは會社の遺憾に堪へぬ所で偶々本工務課長一行に少なからぬ迷惑を及ぼしたのは恐縮に堪へぬ所です又た

◆郵便物は 十九個の內七個を流失してゐたが其後一個を發見都合六個失くなつてゐるやうです

▲危かりし岡本勅任技師

南大川に於ける水害救濟のため十七日鎭南浦を出發したる鮮鐵局の吉川技師長の勅任技師岡本指次氏は汝海津にて危かりし遭難の詳報は前記の如くなるが同氏の遭難に付鐵道局の某氏は語る

●清水組上野氏起訴

京都清水組理事兼大阪時事新報京都支局長上野理夫氏は京都市會議員に對する贈賄提供罪に問はれて起訴されたり（京都電報）

●奉天大風
本年始めての砂煙

奉天名物砂塵の期節は例年三月上旬より五月下旬に及ぶものなるが本年は氣候の進みたる爲めにや十九日朝より風速九米突の西北風砂塵を飛ばし奉天附近の大平野は黃色の砂塵濛々として空を覆ひ天地晦冥の壯觀を呈せり是れ實に本年始めての砂煙日和なりと（奉天特電）

●玉手山捕縛
貴金屬拐帶逃走

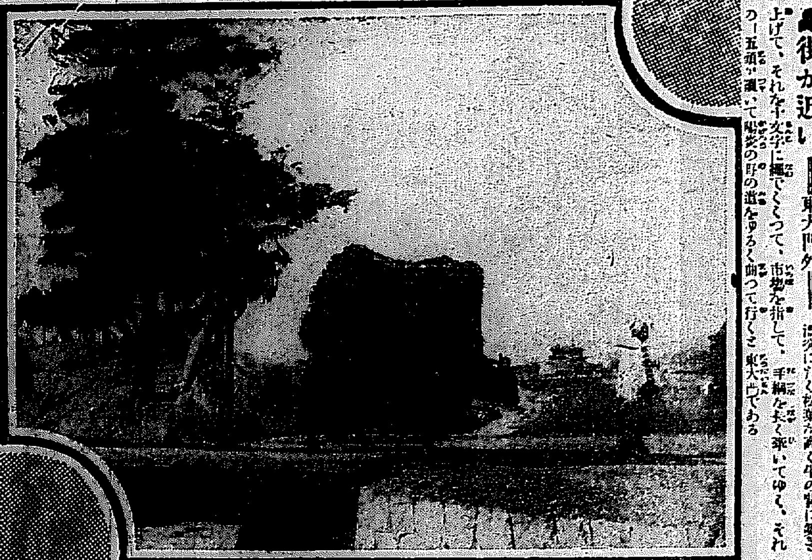
貴金屬二千餘圓拐帶逃走したる大阪森內力士玉手山は十八日北海道にて捕縛されたりと（大阪特電）

◆露報を綜合 すると課長一行は十九日朝京畿丸を下船艀舟で陸岸に向ふ途中風波のため水夫が針路を誤まり所在の巨岩に船を打著け顚覆さしたらしい、乃で乘客二十名中十名は海中にモンドリ打つて轉落し殘りの十名ばかりはその岩と船に

◆獅噛み付き 乍ら助けを呼んだものと見ゆる但し課長及び河原技師が海中に投り込まれて幸ひ夕ね方に入つてゐたか岩若くは船により辛うじて身を支へてゐたかは明らかでないが要するに兩氏共に全身濡れ鼠みとなり岡本技師は艱に

◆輕い打撲傷 を受けたと云ふ事である其內救助船が來て兩氏共に助けられたやうだが何分北鮮で寒さは酷いし外に數名の死者を出したやうだから一時は非常に氣遣つたが然し課長は存外元氣で旅行を繼續すると云ふ事に電報は來てゐる又氏の

◆毛布や其他 の所持品は多く遺失と同時に亡失したが衣類入りの鞄は引上げる事が出來たさうである



●街が近い ―東大門外―
上げて、それ手に十字に纏てくゝつて、市場を指して、手綱を長く率いてゆく、それ

●宣川の基督教大會
一萬の基徒集る

近時平安北道一帶に居住する朝鮮人の宗教熱殷にして殆ど全部耶蘇教の信者として今や宣教師を信ずる事極度に達し宣教師は旺んに泰西の思想を鼓吹するに努めたる結果往々にして無知なる鮮人に誤解を抱かしむるを聽く然るに數日前より之等信徒約一萬餘名の大祈禱は佛人の總督せる宣川教會堂に會集し何事か協議を遂げつゝあり平北管內未だ曾て此の如き多數信徒の會集せる事なく當三者間には奇異の感を抱かれつゝありと（平壤）

●兼二浦の血塗れ騷ぎ
職工の大喧嘩

去る十七日兼二浦三菱製鐵所熔鑛爐仕上げ鍛冶工及び鐵職工二百餘名は工事竣工に付き祝酒を振舞はれ內十五六名は午後九時頃より更に三次會を開かんとして料亭富士の家に押し掛けたるが富士の家にて謝絕したるにぞ泥醉せる彼等は同家の門燈及び座敷障子を破壞し主人某を棍棒にて毆打負傷せしめたる上家同を飛び出し三七十樓に登樓し車坐となりて酒宴を始めたるが鍛冶職城信一（三二）鐵職坂本清五郎（二七）の兩人は仕事の功名話から口論を初め果ては大喧嘩となり組んづ解れつする內に何者とも知れず出刃庖丁にて坂本清五郎の背部に短刀にて長さ三寸深さ五分餘の傷を負はせたる騷ぎに料亭は忽ち修羅の巷と化し何時果つべくも見えざりしが折柄急報に接したる兼二浦巡查駐在所の說田巡查部長久木田巡查は時を移さず現場に驅付け漸く取鎭め負傷者は和田病院にて應急の手當を加へ目下關係者一同に就き取調中なり（兼二浦）

●衣類を持ち出す

住所小完宋壬生（三五）は曾て新町日曜樓に奉公し同家の勝手を知悉せるをよき事にし十三日夜同家裏口より忍び入り簞笥の衣類十六點價格二百十三圓のものを窃取直ちに其內

●被害者不明

住所不定支那人夫文學善（三七）は六日午後九時頃若草町邊の某內地人店頭にありたる我鐵板一枚を窃取持運び中黃金町三丁目派出所にて捕へられたるが被害者不明なり

●暴風中の出火五件

十九日午後十二時十分岡崎町四十五番地金允明方溫突より失火藁葺溫突二間燒失▲同日二時五十分樓下洞二百四十番地畜鴨相方使所より出火藁葺溫突三間燒失▲同日五時二十分薪葉町二丁目四番地李順良方より失火藁葺溫突二間を燒失▲十時二十五分勸井洞一九完朴根方溫突煙突破損より漏火せしも即時に消し止む▲廿日午前八時五十三分中林洞二十三番地朴君三方所有積藁より出火せしも消し止む

●技藝學校展覽會

私立京城女子技藝學校にては廿三日午後一時より同四時迄及び廿四日午前十時より午後四時迄兩日同校內に於て生徒成績品展覽會を開催す可く成績品は學科裁縫ミシン編物袋物造花刺繡其他數種にて之を賣品非賣品に區別し賣品は實費を以て頒つ由

●征露記念品贈與 京城在鄕軍人會朝鮮本部の役員中大正三四年戰役に際し出征軍人の遺族に…記念品を贈與せし由

●故城山氏葬儀執行 京城神社名譽出仕城山有吉氏葬儀は十九日午後二時より明治町假葬場に於て執行されたり

讀者文藝（一等には五十錢分の切手…）

▲俗謠「梅」

鄙にかり鐘の待つ夜が更けて梅の香を（一等）　京城第一銀行　大塚久

なにを白梅陸子にすねて黑く寫した影ぢやら

枝に來て啼く鶯が…　本町　朝良生

梅が笑へば鶯が…　武橋町　馬鈴軒

待つた甲斐の…　氷登浦　鶴子

（以下不明瞭）

記者の手帖から

▽鐵製の軍帽 ―我國でも研究したが經費が無いので御流れ―
歐洲戰爭の畫報や寫眞を見ると敵味方を問はずヘルメット型の鐵帽を被つて居る獨逸は昔からだが英國や佛國は今度の戰爭で苦い〳〵經驗を嘗めた結果である、我國の武士ばかりでなく歐羅巴では

◎中世紀の 騎士が鎧、兜と云ふ扮裝であつたが、科學の世界機械の時代とも云ふべき現代の戰爭に、今更鐵の帽子を持出すなどは或意味に於て面白い時代錯誤と言はねばならぬ、ところが此の

◎鐵の帽子 は英國や佛蘭西が始めて思ひ付いたのかと云ふと穴勝左右でもない、今から二十年も前、我國でも研究したことがあるから面白い、これは彼の日清戰爭の實驗に基くもので此戰爭で我軍の死傷者は頭部を遣られたものが一番多かつた、何んとか

◎好い方法 はないものかと時の軍事當局が頭を捻つた結果思ひ付いたのが此の鐵帽子早速美術學校に依囑して意匠まで考案して貰つた、時恰も戰後、財力の疲憊した際ではあるし經費の一點で行詰つた儘終にお流れになつて了つたが鐵帽では我國が先鞭である帽子で思出したが我將校の正帽は

◎佛國陸軍 の型を其儘採用したものだ、奈破翁が獨逸に攻め入つた時佛蘭西軍は進二無二に突進して大捷を博した、屍山血河を染めて全軍の將卒萬歲を絕叫する時秘かに顧みると帽子は遺れ

◎服は破れ て居ると云ふ有樣……其後佛蘭西では此戰捷を永遠に記念する爲め、軍帽の後前を態と潰して戴る事にした、我國は斯んな深い譯も知らず唯形が好いので其儘頂戴したのである（某軍事通談）

朝鮮の家庭は大概朝食が遲れる▲中流以上になると十一時頃になるのが普通である▲隨つて朝寢などの惡習慣も自然風を爲すことになるのである▲これには一つの原因とも云ふべきものがある▲吾々內地人の家庭では朝は極く簡單に濟まして晩餐を多少加減するのが普通であるが朝鮮人の家庭では朝出來る丈の御馳走をして晩餐は割合に簡單にすることである▲少し富裕なものになると七楪飯床又は九楪飯床など云つて七品又は九品の御菜を副へるのであるから▲いくら朝早くから仕度に取り掛つてもそう早くは出來ぬのである▲それから夜の宴會であるが明月舘や長春舘での宴會でも十一時頃から漸く始つて十一時二時頃が一番高調に達するのが普通で▲若し夫れ個人の家に於ける宴會になるとまだ〳〵遲れることがある▲記者は或る兩班の宴會に招かれて一夜末席を汚したことがあるが▲午後七時からの案內が翌日の午前三時に漸く歸つて妻君から非常に疑はれて閉口したこともあつた

乳母至急入用
體質强壯にして血統正しく性質溫順なる年齡卅歲前後迄京仁間に住する者希望者は左記へ來談あれたし
仁川本町　奧田

課題募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚…

商况

東京期米特電　二十日前場 二十五圓七十二錢 [illegible]

兵庫期米　二十日前場 二十五圓六十二錢 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報

●綿糸布動機待 大阪三品今前場の入電は當限三百二十一圓五十錢先限三百二十一圓五十錢…

●砂糖色めく …

●動機待見送り 現物…

●綿布は龍レー十圓 二十錢…

●小麥品ガスレ …

●分の昂騰は免がれぬ 市中値幾…

●錢處迄出來 十五圓四十

●買後 …

●大豆更に强調 …

●煉乳更に値上 一大打擊…

●方の値上 …再度二圓値二十三圓…建入形印 …二十一圓…

●明太魚不引立 …投げ退き續々 二十五六圓…

●鹽鰊は弗々 …

下關相場 …

京城正米 …

南大門の廻穀 …

市場雜觀 …

仁川正米 …

釜山穀物（十九日）…

釜山水產市場 十九日 …

仁川期米 ▲二十日前場（强硬）…

大阪天候曇天前場二十五圓七十二錢高…

●正米は打算で割高 定期を賣り退き…

●惡化にも市况は存外 …

●止の見込高入氣 調節令廢…

的高村料に一時 …

小賣白米 現金賣 一等白米 二十四錢五厘　二等白米 二十四錢

二十日の四月限　仁川米豆取引所 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人　仲買店

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町二丁目　仲買店

天氣　南西の風晴

金建施行は相互の利益
幣制整理は困難に非ず
阿部鮮銀滿洲副總支配人談

今回鮮銀大連支店長兼滿洲副總支配人として赴任の途にある阿部秀太郎氏を安東より新義州に訪へば左記の如く語りて曰く

最近、長春の取引所に於ても金建に對して意見を要求して居る模樣であるが、長春の方は大連の市場に於て遺憾なく金建が實行さるれば、これでよし萬一實行されねば長春としても飽迄金建施行は許されね困難があると云ふ位に止まつて後の大連の方の主張とは大に面目を異にして居る事と思ふ彼の大連の方の主張と雖も

▲其の表面に旗印 として押立てた理由は強ち無理とも思はないが然かし裏面の理由が重かをなしては居ないかと思ふ彼の先般錢業が施行された際紛議があつた如く錢建論者とか或は銀貨國で金本位を押し通すは無理であるとか云ふ連中は眞面目で眞實な思想を持つてるものとは何うしても受取り兼ねる、論者は銀相場の上下により奇利を博さうと云ふ極めて不健實な不眞面目な考へを持つてるもので産業開發上

▲誠に遺憾に堪へ ぬ所である、是れを滿洲の輸出貿易に見るも其の八分は金貨本位の國家との間に取引せられ、其の殘餘の二分だけが銀貨國との間に商取引が行はれてる有樣である、故に輸入貿易なるものは輸入は勿論金貨であるが

▲全然金建により て行はれてると云ふも殆んど差支へない程度に進んでる是の如く我が主張すれば人多くは暴論を立論にしてるから暴論に都合の善い事計りを云ふと思はれ易いが決してそんな卑屈な考へを持つては居ない是れは國家的見地、世界的見地からの主張である、何故ならば金融圏の間に貿易が行はるれば其の國際に一方は不安の裡に事が行はれねばならぬ、其の結果は兩者の

▲交涉は不健全で あると云はねばならぬ、是れでは貿易の進展を計り交涉の圓滿を期する事は不可能となる、故に總ては世界を通じて幣制は統一されねばならぬ性質を持つてるものと見る事が出來る、滿洲の如きは內地人の移住者が漸次增加し其勢力は緊密の進歩發達を逐げてる、此の際滿洲の幣制を整理し金建を實行するは左程の困難なる事ではないと思惟する幣制整理に對しては支那現在の發行權を有する銀行を整理して

▲其權利を統一し 日本若しくは他の金貨國より金資金を融通し從來の紙幣に代ふるに金券を以てすれば直ちに金建は施行されると思ふ、又此の幣制の整理融と雖も金建を施行遂行せんと思へば輸入品に於て支那人對金貨國との間に既に金建取引は開始されてるから金融業者と當局者と有無相通じ以て相互に

▲或程度迄の犧牲 を拂へば輸入貿易に對する程度のものを拂はずして遂行され樣と思ふ、此の意味に於て鮮銀は決して躊躇するものではない否進んで當局者當事者との間に相互の利益相互の犧牲を割つ意圖を以て此の金建施行の遂行をなさんとするものである只此の間に尤も注意を要するは其の資金が極めて健全にして眞面目にして着實なる方面に限られねばならぬと云ふ事であると同時に一般財界の紊亂を招かず

▲不健全なる膨脹 を來さぬ樣にせねばならぬ一事である彼の歐洲戰亂が我國財界に及ぼした影響は極めて大なるものであると思ふ、故に此の戰亂が終熄するの曉の財界は極めて愼重に考究するの必要がある、其の機に際して依然として我財界は健實に發展して行く樣に今から充分に計畫を逐めて行くの必要があるからである

撫順のモンド瓦斯（四）
工場行脚の……李衛門記
◇空中から窒素をとる化學工業會社◇
◇米國大統領ウヰルソン氏の大警告◇

【撫順のモンド瓦斯】工場は斯の如く廉い石炭を使用して廉い動力を得つゝある、されば此の廉い動力を利用すべく附近にいろんな工場が出來つゝある、第一硫酸アンモニアを製造する爲めの硫酸もモンド瓦斯工場の傍で製造しつゝある、その化學工業會社もモンド瓦斯工場の傍で製造しつゝある、その他空中から窒素を採る化學工業會社もモンド瓦斯の動力による廉い電力の供給をうけて盛んに電氣爐を應用しつゝある、その他近く鉛工すべく亞鉛工場はその鑛石を燒く時に出る亞硫酸瓦斯を利用してモンド瓦斯へ硫酸を供給する計畫、かくすれば廢物たる亞硫酸瓦斯を高い煙突から吐き出す必要もなく厄介物が却つてお隣への必要品となつて金になる次第

【大工業地の衛星は】かくの如くしてモンド瓦斯を中心としてあらゆる化學工業が起り而て各自がその廢物を供給して有無相通じ何一として無駄のなき仕事を始めようとしつゝある、從つて製造品は極めて〱廉價に出來將來戰後の猛烈なる經濟戰にも堪戰せらるゝ譯である工業立國を標榜する新日本はせひとも撫順のモンド瓦斯式にならねばならね、是非共〱ならねば

渾河々畔の撫順水源池と撫順城街道の永安橋

ける産額は前述の如く獨逸を最とし英國これに次ぐが近時米國に於ても盛んに是れに着目して來た、現に大統領ウヰルソン氏の如きも是非石炭中の窒素を利用して國益を增さねばならぬと警告してゐる

【石炭中の窒素は米國が其の漫然】使用しつゝある石炭中から貴重なる硫酸アンモニアをとつたならば、それは恐くべき計數にのぼるであらう……とは大統領の教諭にもある、而已ならずモンド瓦斯によるコールターの副産物はこれまた頗る有望である現に撫順ではこれをピッチとしベンゾールとして出してゐるが若しこれを利用したならば更らに一工業も二工業も生れる譯である

【大にメールからは】支那人向きの燈火油もとれる、溶解劑も殺菌劑も色素もとれる次第である、斯うして見ると石炭は實に化學工業の母とも云ふべく全體で約十億噸の大炭藏を有するわが撫順炭鑛は實に日本の寶庫といはねばならね、これを利用せずして徒らに消費して了ふのは工業立國にブジユンしたはなしではないか（つゞく）

大邱の藥令市
◇年々殷盛に趣く◇

大邱の藥令市は世人の周知せる如く每年二回春秋の收穫後に於ける農閑期をトして每回約二箇月間に亙り開市せらるゝを常とし朝鮮全道は勿論遠く日本內地及び支那方面より集り來る者多く年々殷盛を極へ居れるが今既往三箇年に於ける取引高を見るに

年度	產出（賣出）	移出（買方）	數量
大正四年	三九、七〇三	三六、九九〇	一二三二、四六五
同 五年	一〇四、八〇九	一一七、九四六	三四〇、三〇五
同 六年	二三二、六八九	二〇四、三三〇	四四六、九九七

にして右表に依るも如何に同市が年々發展の氣運を示し居るかを察知するに足るべし然りと雖も一方より見る時は之れ素より一般藥價騰貴に併ふ自然の趨勢に外ならずと云ふを得べきも大正六年度秋季即ち六年十二月より七年一月に亙る二箇月間に於ける同市は既往に於て最も殷盛を極め從つて其の取引高に於ても未曾有の記錄を示したるが今其の理由を調査するに之れ即ち一般經濟界の好況に起因するは言を待たずと雖も尚主として鮮人衛生思想の發達に伴ひ從來疾病に罹るも單に之を放棄して醫藥等を用ひず只に天命を待つ如き風習ありしも近時衛生思想の發達と共に斯かる弊習殆ど一掃され漸次醫藥を用ひ療養するに至り爲めに自然之が需用の增加を來し加ふるに朝鮮人參等の如きは藥用としてのみならず加工品、藥代用、及び風呂用として廣く一般に需用さるゝに至りたる結果なるは爭ふ可らざる事實にして現時の如き狀態に在りては將來益々同市の盛況を見るに至るべし

一日千二百噸
平壤驛發送貨物新記錄

平壤驛に於ける發送貨物の取扱は昨春來連月增進を呈し來り昨今は一日の發著四五百噸を下らず其の盛況なるが去る十日即ち舊歲末の大晦日の發送貨物の申込は局線聯帶及び滿洲行をも合し一千二百五十七噸の巨額に達したるが一日一千噸以上の發送貨物の申込を取扱ひたるは全く平壤驛空前の盛事に屬し此運送賃金は現拂二千九百八十二圓二十四錢後拂六百十二圓四十錢なれば計三千五百九十四圓二十八錢を算したるは頗る驚目に値すべく仍ほ當日は到著貨物四百十二噸ありしが斯く發送一千二百五十噸に上れるは舊歲末の事とて決算資金の需要及び迎春用意の爲め鮮人側は一般に穀物及び特産物を放賣したるに依るも其の一因にして到著貨物の例日より增加を示せるも要之舊歲末年始に込みの荷物が運輸上の干係より一時に到著したるにあるべく何れにしても新舊發送貨物の旺盛は大に觀目するに足るべし

堆貨の新記錄

大連埠頭に於ける大豆は運賃銀高等の關係上荷動き捗々しからず十四日以來十七萬噸以上の大堆積を見るに至れり斯の如き大豆の堆積數を見たるは大連埠頭の新レコードなりと

大豆問題愈解決

大連に於ける昨秋來の問題なりし大豆受渡紛擾事件も漸次解決し殘餘六分は過般來仲裁人の手に附せられつゝありしが仲裁以來各係員は夫れ〱充分の調査を遂げ愈々十四日より原被双方の取調べに着手せるを以て茲旬日を出でずして仲裁落著を告ぐるに至るべしと一般に觀測せられ居れり

新義州にも望樓が出來た
高さ五十尺龍岩浦から義州安東縣は一と目

▲巽野警視が新義州の署長として赴任してから未だ一年にも成らぬが其間爲したる仕事が甚だ夥い就中冬期水の無い火事の多い新義州に消防機關を完成したと云ふことは誠に推稱すべきことである▲今度警察署構內に出來上つた望樓は高さ五十尺樓上より望めば市街は勿論西は龍岩浦より東は義州南は石下白馬より北は安東沙河鎭まで望むことが出來る▲當分宿直消防手の出來るまでは巡查補を交替見張せしむるさうだが愈々來年度より府の警備費豫算が出來たら消防手を置いて行くはサーチライトを据付けて一朝火災のあつた際は警鐘を打つと共に其の方にサーチライトの光線を向けるとの計畫誠に良い思ひ付きなりと新義州より歸來せし某官吏の談であつた

客月檢米成績

群山穀物檢查所取扱に係る一月中檢查總數量は既報せる如くなるが檢米總數十一萬零三百十四叺の內譯成績を聞くに二等格一千五百三十六叺三等格九萬四千八百二十三叺不合格一萬三千九百五十五叺にして不合格の種別を見るに乾燥不……長九百八十叺夾雜物過多一萬千四百十九叺赤米過多三百五十三叺色米過多四百六十叺包裝不良七百四十一叺等なりしと

錦山街道延期

大田より全北錦山郡に通ずる道路中大田、胎封山間の改修工事は昨年中より大田本町二丁目土井深氏の請負にて工事中の處工事意外に捗らず殊に昨年十二月頃より本年一月に渉り非常の冱寒にて結氷の爲め土盛り困難にして一時工事を中止するの止むを得ざる等の事ありて落成期日までに竣工は覺束なかるべしと因みに其の改修工事は一應落成の期ありとするも橋梁架設等には何等の計畫立ち居らざる爲め本年四月の交を以て自動車開通の如きは全然不可能なるべし

大邱陸棉相場

二月十一日入電大阪「ミットリング」相場は九十圓八十錢にして二月一日に比し三十錢高く大邱鈴木繰綿工場相場は實棉一等二十六圓三十二錢三厘二等二十三圓六十九錢三等十八圓四十二錢六厘四等十三圓九十一錢四厘繰綿一等七十五圓九十一錢四厘二等六十八圓四十錢三厘三等五十三圓十四錢となりたり

全北の煙草戰

全北地方に於ける東亞煙草と朝鮮煙草の競爭は昨秋より激烈を極めつゝあるが近時一層其の猛烈なるものあり東亞の全北忠南地方に於ける地盤は根柢の深きものありしが近時朝煙の當方面に活躍し堅固なりし東亞の地盤を著しく搖がし深く浸入せるもの如く東亞は防禦の位置に立ち朝煙は攻勢にありて目下は白兵戰となり競爭熾烈を極め居れり

京城サマワール會

京城日の出學校內公立簡易商業學校露語科出身者を以て組織する同會にては會員小田榮氏（大連）の永眠を機とし十八日夜飯店を會場に第二回茶話會を開き未決の役員の推選をなし會長に陸軍通譯官調部宮原氏を推し幹事に小田氏を常任幹事に加茂氏を舉げ會事務所を若草町八十四番加茂宅に置く事となし又則を制定し露國事情研究の一機關として活躍を試むべく露國に同好の士の入會を歡迎す因みに現本會員氏名は小田榮、加茂見治、安田濟行、安倍代五郎、加茂啓三郎、高田利穩、森岳二、阿部俊一郎、錦山說之進、中村轉作、佐々木精、宮本

台所 その日〱
◇鳥雜炊◇

小鳥又は鷄肉等は庖丁でよく叩き酒を少々かけて小さく丸めます別に白味噌七分赤味噌三分の割で味噌汁を作り其の中へ皮を剝き之を入れ（なければ鰹節をかいて入れるか又は昆布出汁で味噌をのばします）暫く煮てしてから椎茸や皮を剝し去り其の後へ豆腐をかみくづして入れ飯を共に入れ一煮して椀に盛り好みにより芹の莖の微塵切りをふりかけて供します

遞信船上旅客

暴風警報

生徒募集
今年四月入學セシムベキ第一學年生徒約五拾名ヲ募集ス詳細ハ二月二十五日以降ノ朝鮮總督府官報又ハ本分教室ニ就キ承合スベシ
大正七年二月
京城中學校 大田分教室

御暇乞
拜啓急ニ出發スル事ト相成候ニ付乍略儀新聞紙上ニテ御暇乞申上候 敬具
森 京右衛門

濾過綿 壹封金壹圓卅錢也 使用法は封紙に明記す
右は家庭衛生上必需品にして飲用水を濾過し一家の安全を圖る
右販賣人を募集す
大阪市北區… 共益社

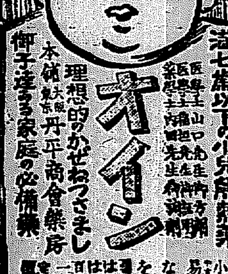
◎新荷著
尾州產檜丸太 一寸二分板建具用
椹丸太 桶用
杉柾椹柾板天井用
欅及朴板 子用
朽巾廣床板
楓天竇梨其他各種
右種々著荷仕候間多少に不拘御用命被下度候
京城黃金町三丁目 尾州產檜 營林廠材 其他各種 材佐事
丹平井勳 電話弐七九四番

縄機
成績立證二年 五割拂 有利特約 販賣店に代金は回 貸附す其他精米機製莚機も特賣中
至急照會 現品圖入營業案內送呈
製造元 大阪大正橋西 帝農商社

現物專業 株 利殖機關
株式朝取受託
一、株式賣買 一、有價證券賣買 一、擔保附資金融通 一、其他一般信託業務
大阪市東區北濱一丁目
合資會社 柏野商店
代表社員 柏野孝太

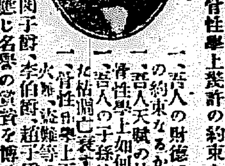
謹告
生儀轉居中の處去る十七日歸院し從前の通り專心醫業に從事す
櫻井町（電話貳七壹番）
池上醫院 池上要吉

產婦人科
京城壽町 電話一二〇二番
二宮醫院 醫學士 二宮亮吉



銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候
★ 株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町壹丁目 電話
資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎

人事百般 周旋業
萬年社
京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番


觀理骨性相學會長 觀理哲學士 美馬天地眼
京城本町 山本旅館

坩堝用 黑鉛 高價買入
門司市… 門司グラファイト製煉所

◎依賴者多數に付更に二十二日迄日延一般依賴者の需に應ず

修養日訓
大町桂月先生監輯
桂月先生の序に曰く（前略）謹んで世の修養に志ある人々に告ぐ、一時に修養上の知識を貪らむとする勿れ、日々少しづつ自得して實行せよ更に他書を繙く人々に告ぐ、日々其日の條のみを讀め而も、熟讀せよ解らぬなら解る迄熟考せよ昨日以前讀み終りたる所を回顧するも好し、決して翌日以後の條を見るべからず、如何に多忙なりとも其日の條を讀まざるかなる、かくて一日又一日、一月又一月一年の後に至りて一年前と比較して見よ必ずや諸君は吳下の舊阿蒙にあらざらむ
發賣元 京城日報社代理部

御料理 仕出し 親子丼 折詰辨當
京城南大門集會所隣 福島屋 電話一五七四番

靴と鞄 內田靴鞄問屋

東洋一 …の魁

時計 金銀製作 販賣 …商店

今回朝鮮總督府の御買上を蒙りたる
パイン萬年筆
提灯挿
發賣元 京日代理部

刑妻ヨシ 病氣の處…二月十九日… 親戚 藤谷信太郎 二宮常一 三野金次郎 村清治 友人總代 白川小吉 壽秋兵太郎 湊佐吉 坪內岩吉

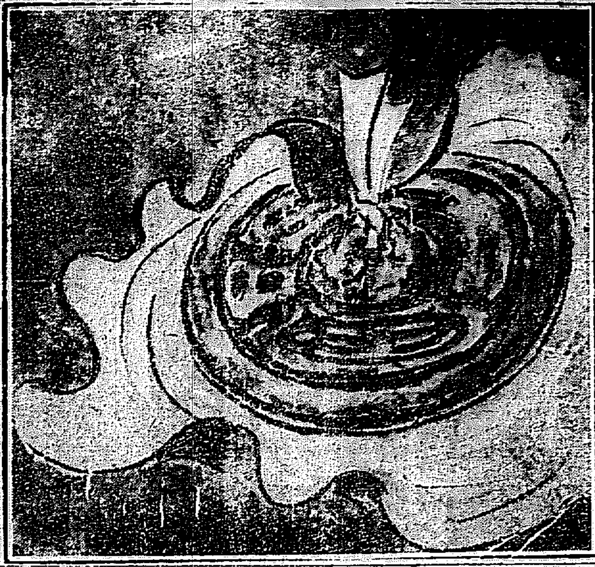
父 河越彌一 北村信卿 關口正三郎 森忠之助 親戚 友人總代

左甚五郎

第百七十四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

丸屋太兵衛、小西屋吉十郎の二人は笑ひ出して　九「近江屋そんなに怒りなさるな　近「だつて今夜此處へ來たのも内密ではないか、それだのに相方の女を伴れて行つて遣れと云ふから怒りもするアな　九「女郎の服装では許けないから素人の服装に拵へてお前の娘として伴れて行つたら宜からう　近「馬鹿〳〵しい相方の女を娘にするやア世話は無い、然しそれも宜からう、おやア伴れて行つて遣らう」と云ふので遊女が外出をするのは入釜錢がかゝつた時分でございまするが、之とは大家の旦那が金にあかして小浪を伴れて浪花屋十右衛門の方へ參りました、近江屋が先立で　近「イヤ浪花屋さん、お前さんの處の人形を見たいと云ふから娘を伴れて來ましたが何うか見せて遣つて下さい　十「近江屋さん、お前さんには男の子ばかり四人あつて淘に女の子が無いので物足りないと通常云つてはありませんか、女の子は無い筈で　近「ウーム……イヤそこだ　十「何がそこだ　近「夕べ出來た娘なんで　十「何歳になんなさる　近「二十歳になる　十「そんな奴があるものか　近「まア何でも宜いから見せておくんなさい」と三人は小浪を伴れて人形の飾つてある居室へ來て小浪に見せた、人形には紅白粉を塗け女中が四人も附いて居て其の側に十三郎は亭主氣取りで坐つて居ります、イヤ其の美しいこと目を驚かすばかりであります、小浪は其の人形を熟〳〵見て居たが、ホロリ〳〵と涙を流し果は堪へ兼たものかワツと泣き出して打伏したから皆々は驚いて、近「見たいと云ふから見せて遣つたのに何で泣なさる　近「是れは何か深い仔細があるのだらう、其の理由を話したが宜い」小浪はやう〳〵に頭を上げて涙を拭ひ　小「宜うお訊ね下さいました、情けなき身の上話し一と通りお聞き下さいまし　近「ウム　小「妾の父は泉州堺で錦屋惣右衛門といふ唐商人でございました　近「泉州堺の錦屋惣右衛門とヘバ名代の大家、お前は其の錦屋の娘さんかね　小「左様でございます、處が父の惣右衛門、オランダ船の抜け買異國船の交易なぞをして大金を得たらしい處、其の事が露顯をして家名は潰され惣右衛門は所拂ひといふので堺の地を拂はれ、京の東山の麓に参つて微な生活をして居りましたが、其内に母も亡くなり父は病に罹り何うすることも出來ませんので、姉と妾は此の島原へ身を賣つて遊女となつたのでございます　近「ヤレ〳〵それは氣の毒なこと　小「姉妹して桔梗屋に勤めをして姉は玉江と申しまして細川家の重役に木原九郎右衛門といふお方がございますが、その人に根引をされて熊本へ伴れて行かれました、此方の若旦那が黒谷に御覧になつたといふのは姉の玉江でございませう　近「ウム　小「國へ行けば姉妹に再び合ふことも出來ませんと歎きましたが京地を名残りと服装を装つて黒谷へ参りましたので、其の節鏡を取落したと云ひますが、其の鏡といふのは父の惣右衛門が大明國より得ましたもので、姉と妾へ一ツ宛呉れました、妾も所持して居りますれば只今御覧に入れませう」と懐中より取出せる手鏡は裏に大明國としてあつて人形の懐中にある鏡と同じ物でございました、是を見て一同の者は其子の者の成りゆきを聞き姉妹の辛苦を察し與に涙にくれて居りました、主人浪花屋十右衛門は涙を拂ひ　十「聞けば聞く程ど氣の毒なことであつた、然て見ると黒谷で十三郎が見たと云ふ婦人はお前の姉の玉江といふ者であつたるか」と奇遇を喜びました



入院室完備　京城明治町一丁目　昌藤病院　電話一六五九番　院主 佐々木杏造

質　京城本町通二丁目　本多質店　嚴密精々御便利御預

軍隊毛布
先般來本社が一ア軍隊防寒用毛布の約束遡を提供せしに非常な好評にて御注文全部に應じ兼候に付更に五千組提供し茶鼠大判二枚續き(無斑)一組原糸値段なる二圓九十五錢で御注文に應ず至急ハガキで申込あれ受付順に引換郵便で發送す當店の店では到底五圓以下では買へぬ實用品也
東京纖物仲繼店

女のくすり　ドンナに冷えてもスグ温まる　命の母
價一圓廿五錢、一圓五十錢、八十錢、全國有名藥舖にあり
本舖 東京淺草新旅町　笹岡藥房

廣告

曆

二月廿二日　九星
舊正月十二日　庚子
本命七赤　西開　赤口

▲七赤　餘裕なき所有日新事見も齊力け吉　▲八白　大儀有日勝負入學金件も弘求…▲九紫　勘定…▲一白　一孤阿成の日轉居事…▲二黒　已甦の…▲三碧　害鼠られ損の事有日新…▲四緑　壯健のあ…▲五黄　好況なる日轉居防業を持吉女子の…▲六白　同情の集…

演藝案内

京城本町　壽館　電話一〇五〇
三日より向ふ十日間…
▲一番目　留守　▲二番目　三人兄弟　▲三番目　弁慶…

黄金館　電話二三六七、二三六六
…

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番
京阪落語若手一座
笑三一　落語、手踊…
香曲(花輔)一落語(右國遊)一手踊(歌六)
浪花節(浪月)一落語、手踊(歌六)
一大切　景劇(總出)

有樂館　活動寫眞常設館
…本日より提供の三大寫眞…
○新派悲劇『電氣地』全四巻
○社會劇『家名保護』全五巻
○喜劇『天小僧仙之助』全四巻…

大正館　本町四丁目　電話八七三
…全三巻

寫眞　京城日報社寫眞製版部

子宮病血ノ道リウマチスに惱む人は　神疝湯
彼れ是と迷ふ無く
最も能く效く良藥神疝湯を試みよ…
神疝湯は家方の良藥にして今や全國各藥店にあり

こんな徴候…
本舗 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎商店

てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れば永年の病も自宅でヒミツに治する事の書た新しい本を無代進呈す
名古屋市南小川町一致生

質　京城明治町二丁目元町　大塚質店　電話一八四九
◎戰保ず火災の…
◎多額の融通

たんせき　最近の良劑
セキドミン…

セキドミン　たんせき良劑
…弘濟藥院

賃　本町二丁目長橋…　田村質店

古著古洋服　江頭衣服店　電話九一三七番

りんびょう　ばいどく　京城永樂町二丁目　ドラッグ商會本部
龍山漢江通　東京ドラッグ商會支店
仁川仲町三丁目　東京ドラッグ商會支店
群山明治町　東京ドラッグ商會支店
沙里院西里　東京ドラッグ商會支店
羅生駒南町　東京ドラッグ商會支店

白髮を毛染せる元祖　パール
パール煉香油　パールポマード
日本内地は勿論海外各地に巨多の愛用者を有し昨今殊に海外の輸出多大に激増し各所より山なす注文…
パール椿油
礦物を加合せず化粧化學を應用し香氣馥郁として絶對養毛に適したる純植物製
發賣元　平尾賛平商店

花王石鹼は遂に家庭語となれり
近來世間では品質優良にして價格低廉なるものを指して「花王石鹼のやうだ」とか、又は「家庭用には花王式が好い」とか仰しやるのを屢耳に致しますが是れ偏に品質本位の花王石鹼が一般の御家庭に於て久しく厚く御愛用を蒙り其特長たる廉價の良品といふことが最も著く了解せられて居る證據に外ならず弊商會は之を光榮として
益々特長を發揮し甚大なる御愛顧に酬ゆる覺悟です。
長瀨商會　大崎組商會

品質第一　誠實第一　賣行第一
キッコーリウ　最上醬油
釀造元仁川港　日本醬油株式會社
京城出張所　京城大平通二丁目電話二四五番

京城日報
二十一日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價・廣告料金（略）
發行兼編輯人　奧田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社

▲二十日綿絲　大阪止め變らず後寄未着にて當限十一圓六十三錢先八十七錢　…
仁川米穀取引所　二十日の値段

遊支偶録

（廿五）三箇の要件

蘇峰生

日本さへも一躍して、維新の大業を成就せり。支那に於て、何の能き事か是れあらんやとは、支那に於ける識政治家、論策士の意氣込みなれども、それは全くの見當違ひたりしとは、論より證據、事實が著々之を證明しつゝあり。然も彼等の目は、現在の失敗にて、未だ全く覺め居らざるものに似たり。凡そ中央集權の政治を施すには、少くとも三箇の要件ある可し。（第一）は國民の精神的の統一也。別言すれば國是の確立也。（第二）は兵權の統一也、即ち兵力を中央政府に握り、いざと云はゞ之を以て、反抗者を壓倒する威力を擁するにあり。（第三）は財權の統一也、中央政府が全國財賦の柄を有し、其の一弛一張によりて、全國の經濟界を支配するにあり。顧みて之を支那の現狀に徴するに、果して此に一ある乎。維新の大業の成就したるは、始めに尊王攘夷を以てし、後に尊王開國を以てす。攘夷も開國も、其の一國を以て、世界に對立するの精神は一也。其の異なるは唯だ消極と積極との差別のみ。然も其の攘夷より開國に轉ずる刹那に於ては、我が帝國は、之が爲めに、多大の犠牲を拂へり。而してそれにも拘らず、國論を統一したる所以は、尊王主義即ち皇室中心主義、實に其の中樞たりしを以て也。

支那の第一革命は、滿洲政府に反抗して、出で來りたるものとする乎。是れ唯だ破壊作用に於て、一致したるのみ。知らず、彼等は如何なる建設的國是を有する乎。支那に萬世一系の皇統なきからには、支那に向て、皇室中心主義を要求するも、亦た無理ならずや。而して支那には之に代はる可き、何物を有する乎。予は不幸にして、支那に國論の統一なく、又た之を統一すべき精神的標的なきを、遺憾とせずんばあらず。

米國の輸出入制限

愈十六日より實施

▽制限目的　米國大統領が米國輸出入全般に對する特許制度を設定する布告に關しては既報の如くなるが同布告は二月十六日より實施されたるを以て今後は日本より米國に輸出する品物に對して一々米國各地にある戰時通商局の認可を受くるの必要あるべし生絲羽二重茶等の重要輸出品に對して一部若しくは全部の輸入禁止あるや否やは大統領令後の布告を見る迄は不明なり、然し米國の輸出入を制限する主眼の目的は歐洲に送るべき船舶を得んとするにあるを以て此の大戰遂行の爲めには米國は商工業者の利益を多少犠牲にしても船腹の餘裕を求めんとするは勿論なるべく之が日本貿易業者に及ぼす影響は甚大なるべけれども此政策を緩和せしむる事は日本が共同作戰上一大決心をなすにあらざれば難問題解決と同じく困難なるは豫期せざるべからず

▽對策如何　貿易制限問題に就ては我對米貿易界に及ぼす影響は頗る甚大なりと爲すべく勿論之れが影響程度は更に近く決定布告すべき禁止制限の品目及び程度の制限するに非ざれば詳知する能はずと雖も苟くも米國の戰時經濟政策に鑑み此一般的大仕掛なる貿易制限を斷行せんとする眞意に照らせば想像以上の打撃を蒙る事明らかなり、今略の如く果して大要五割の制限を爲すものとせば昨年の對米貿易額たる輸出四億七千八百五十三萬六千餘圓輸入三億三千九百七十萬五千餘圓合計八億一千八百二十四萬一千圓の半額は減退し遂に四億餘圓の貿易に甘んずるに至るべく言ふ迄もなく對米貿易は我國貿易總額の約三分の一を占むるものなれば之が激減は由由しき大事と云ふべし

▽經濟管理の爲　米國が此一般的貿易制限を爲さんとするは全く戰爭參加の目的を遂行せんとする手段にして從來各種方面に向つて施設したる戰時經濟政策の一端たり目下米國が此目的遂行の爲には殆んど無鐵砲と云はるゝ程船舶を管理し鐵道を管理し其他一般の事業の上にも亦食糧問題の上にもあらゆる國家的干渉を試みつゝあるものにて今回の施設の如きも米國の經濟管理に一歩を進めたるものと見るべきに過ぎず思ふに米國の此戰爭は國を擧げて唯だ戰に勝たんとするのみにて凡ての不自由凡ての拘束は皆愛國的たるが爲に忍びつゝあるものなれば是等の施設の如き國民の殆んど全部は貴き犠牲として承認しつゝあり而して米國の此貿易制限は此根本方針に加ふるに近來聯合與國に對する軍需品及食糧品其他の供給の爲船舶に缺乏を告げたる結果之れに依りて船腹の調節を爲さんとするは明瞭なる事實にて戰時世界の經濟組織の變革に處せんが爲め自國內の產業を奬造換言すれば一個の國產奬勵を計らんとするに在りとなすは餘りに過大の觀察なるべし要するに米國は現實の問題として此の一般的貿易制限を斷行せる以上此の制限は何時絶對的禁止となるやも測られず從來の經驗に依れば一度鐵材の輸出を制限するや我當業者の多くは未だ大なる悲觀を要せずとせる間に早くも絶對禁止を斷行せり然れば今日我對米輸出品の大宗たる生絲を初め羽二重其の他絹布の如き茶眞田紐の如き大體に於て米國の必要品なれば苛酷なる制限を爲さゞるべしとして徒らに樂觀すべからず

▽對策樹立緊要　米國の今次の一般的貿易制限令實施は其根抵深く之に依りて米國が幾許の船腹調節を得べきやは別問題として兎も角此緩和は頗る困難なり況んや米國の希望せる船腹の提供の如きは我國刻下の國防計畫上より云ふも海運政策上より爲すも到底之に應じ能はざるものなれば我國の大策としては他に相當の對應策を講ずべく貿易業者は宜しく此機會に於て覺悟と準備とを新にし米國より他に眼を轉ずるの策を採るの緊要なるものあらん既に對米貿易の危機は來れり今に於て徒らに狼狽し倒するは愚の骨頂と爲すべし（東京）

罌粟栽培阿片製造に就て（三）

山崎強氏談

▲結論　大阪附近の樣に『モルヒネ』含量の多きは百分の廿五にも達し平均十八％も含有するものとすれば普通作に比して利益も多いが若し含量の少い場合には小作料にも足らぬ樣な運命に陷るのであるから其の地に出來た阿片を分析し百分の三十以上も含有したら栽培しても宜しいが大栽培は出來ぬものと思はねばならぬ即ち液汁採收の期間は非常に短く一週間內外であつて此の作業にのみで反當延人員五十名以上も要するので一町歩も栽培する時は第一人夫が無い事になるよしあつても之れに就て經驗の無いものであるから或は剃刀を深く入れたり其他の故障も出來て內地の樣な理には行くまい其の上朝鮮產は內務省に納付する事が出來るが其の生產物の處理にも困ることゝなる朝鮮では秋蒔として苗の二毛作とすることは出來ないから多作も出來ぬ事になるので純副業を用ひなければならぬ隨つて夏作二毛作として栽培する內地の樣な者では勿論面白くないことで殊に朝鮮では阿片を製造することは藥劑師の外は絶對に禁止せられて居るから栽培は見合すに若かずである近時罌粟栽培熱の如く斯く高くなつたのは或は阿片密賣買者等の爲めに流布されたる事ではないかとも思はれるが兎角種苗場其他相當の所で之れが試驗をしてモルヒネ含量の多少を檢定し朝鮮に於ける栽培方法位を發見して置く事は必ずしも不可ではあるまいと思ふ（完）

（調査は大正三年に係る—完）

忘機吟壇

海邊松　中西古竹

老幹龍蟠東海天。高擎曉日帶祥煙。千年不改蒼蒼色。映照滄波麗且鮮。

許日、雅台無比、

新年雅會　栗原華陽

韶陽靄靄瑞氣連。翩翩風流興旺然。屋後禽啼呼雅客。牀前梅笑開華筵。胸無芥蒂含情爽。筆起雲烟對趣鮮。堪喜新年追舊約。滿堂詞采已嬋娟。

許日、後聯穩雅可誦、

新年雅會　兒島九皐

開歲特歡詩興長。裁詩作畫利名忘。紙梅似解騷人意。馥郁襲衣和滿堂。

許日、意境足想見、

せうして

布施生譯

七十六

『ねゝ有りませんでしたわね、實はねあの晩自分でこんな話をつけなければならないやうになつて、何でもないのよ、介意はずに置いて頂戴』『いや瑠璃子』と武烈氏は穩かなしかし命令口調で喚聲けながら一足瑠璃子に歩寄り『介意はずに措くわけには可かん、傷の事ばかりぢやあ無い、あの晩の事は一通り殘らず話して貰はなければならんよ、如何してあの二人はお前の隱家を看附け出したのかね』

瑠璃子は言ふにも堪へぬ樣子で暫時苦痛の色を漲らせたが稍あつて覺悟を定めると聲を潜め『わね初は私を探しに參つたのでは無いのでございますよ、お邸がお呼を聞いて居りました所へあの增築工事の梯子がございましたでしやう、それを見るともう堪らなくなつたのでございますね、つまりお金を盗る心算だつたのでございますわ、あの晩のずつと前からお邸の向ひの此家へ部屋借をして居りましたのでございますもの、丁度二人ともお金に詰つてきたのでございましやう、尤もヴエシネの宅の穴藏には幾許か埋めてございますけれども、それを取りには往けないのでございますもの、でもね兒は後になつて到頭取りに參つたのでございます、私がお邸に居りますのを看附けて勿論二人は驚きました、二人はあの增築の屋根に昇りまして窓の外側に垂らした日遮を剝りあげたのでございます、實は私いつも夜分臥ります前に一度窓をあけて空氣を入換へる癖がございました、すると丁度其時私瓦斯燈を消しに立つたのでございます、私其前に髮を梳いて居りましてね、——假髮を外して居りましたから——二人は直に私に見當がついたのでございます、見當が附くと同時に、二人は私に秘密の手眞似を致して見せました、私はまあ今思ふと殘念な昔覺えてゐた其合圖を其時もまだ忘れずに居たのでございます、二人は合圖をすると其儘室外に蹲踞んで私に燈を消させました、私は初め眞正に喫驚致しまして私の致しました事が結局はどんな事にならうなどゝ云ふ事は忘れて仕舞ひ父さ兒さが私の隱家を看附けて何か手傳ひにでも來て吳れたものゝやうに迂潤勝手に思取つて仕舞ひまして自分も知らぬうちについ二人の言ふ通りに致してしまつたのでございます、

二人は直に日庇を擔退けて這入つて參りました、二人の大きな身體が下から射してくる幽な街燈の光に照されて大きな黑い陰影に寫つた物凄さ、私は自分のものとも覺えぬ聲で『何がほしいのです、如何して此樣眞夜中に忍んで被在たのです、しかも五十尺もあらうと云ふ二階の窓から、貴下方看附かると大變でございますよ』と咎めるやうに申しましたが二人の答を聞くと思はず冷水をかけられたやうに慄然と致しまして同時に此樣二人を自分の家でもないお邸の中へ引入れた私の過失に思當りました『知れた事金がほしいんだい、貴樣こゝに隱れて居やがつたのか、看附けたからには何が來ようたつて最早悔然ともするのぢやないぞ』さう申しまして私があつと恐ろしさに聲を揚げたのにも頓着なく平氣な顏で要家が寢靜まるまで此處にゐるから寢て仕舞つたら有金の藏つてある處へ案內しろと迫るのでございます、二人は此時まだ私をお邸のお召使かと思つて居たらしいのでございます、之は工合が好いと存じまして私初め其つもりに瞞著て居りましたのでしたが私が餘り言ふ事を聞きませんものですから二人は到頭腹を立てゝ矢庭に私を押退け二階を下に降りかけたのでございます、私は恐ろしさについ迂濶今迄の用心を忘れてしまひまして、何卒惡い事はして下さいますな、此宅は私の夫の宅でございますから、と思はず言つてしまつたのでございます下手な事を申しました報は覿面でございました。

新小說豫告

『錺』

布施生譯

生れし時より運命に呪はれたる名細工人、其の行はれたる不思議なる殺人、思はぬ事より其の疑を身に受けたる細工人の弟子、弟子と細工人の娘との切なる戀、娘と其戀人とに同情を有つ優しき女紳士、犯人逮捕の功名に焦慮りて外は顧みぬ探偵長、奇餓と人情美とを巧に綴交せたるエルンストホフマンの傑作。右は『どうして』完結後引續き掲載。

子規居士十五週忌記念畫帖頒布會
第二回會員募集

文豪正岡子規居士の十五周忌に當り、當中央出版協會は遙か追懷の意を表する爲め、曾て子規居士がものせし庭前十景なる寫生畫八枚並に中村不折畫伯が居士の遺志を繼ぎて畫きたる寫生畫二枚を光筆畫となし、それに左記六大家の肉筆六枚を加へて『子規居士十五周忌記念畫帖』を作り、會費を以て天下の同士に頒ち多少なりとも剩餘あらば、之を香花に換へ居士の靈前に供へん主旨にて會員を募集したるに都合千五百九十名の入會者あり、二月中旬までに全部配附を了したるが、子規不折兩先生の光筆畫を始め六大家の肉筆全部が各其の特長を遺憾なく發揮したる傑作なりしこて、會員諸賢は大に稱讃せられ、かゝる廉價にては容易に得られざる逸品なれば知己友人に尙ほ多數の希望者あるゆゑ、第二回會員募集をなしては如何との御勸めありしより、茲に第二回會員募集をなす事となせり、同好の士は直に御賛成御入會あらん事を乞ふ。

揮毫者（いろは順）

河東碧梧桐先生　中村不折先生
吉野左衛門先生　內藤鳴雪先生
高濱虛子先生　下村爲山先生

以上六大家の肉筆には人物あり花鳥あり又山水あり、水墨、淡彩、極彩色等何れも輕妙なる作品なり、皆な亦各自の性格を卒直に表現せし雋筆のみなり、若し之を個々に需めんとせば價格少ならざるべし。

光筆畫

正岡子規先生　寫生畫、汽車の煙、根岸庵より上野を望む、夏の桔梗、あつさうなすゝき、窓前、向ひの家、夏菊牛蒡、僕の庭の空。以上八枚。

中村不折先生　寫生畫、天王寺塔、御行の松以上二枚。

此の十枚の光筆畫は筆意、墨色、氣品等殆ど一萬圓の原畫と異らざるものにて、其の精巧なること驚嘆に値す。

子規居士の寫生畫は居士が盛んに寫生を奬勵せし時代に根岸（子規庵）の病床より眼に入る庭前十景を寫生せんとし、未だ完了せざるを中村不折畫伯に與へたるものにて詩趣情景の遺憾なく現れたる稀有の傑作なり。其の後不折畫伯は自ら追補二枚を畫き之を所謂十景となし知己某に贈りたるが、今は轉々して東京安田家の所藏となり時價一萬圓と稱せらる。眞に天下の逸品なり。今回當中央出版協會が之を借りて光筆畫となし『子規居士十五周忌記念畫帖』として同士に頒たんとするに際し、子規居士に私淑せし前記六先生が其の意を賛し居士追善の意味にて（肉筆）揮毫を承諾せられ、而も別記の如き傑作のみ揮毫されたれば、一般千五百餘名の入會者ありたるものと信ず。而し餘りに會費低廉なるゆゑ或は疑ひを起す方もあらんが、之全く營利的計劃にあらず追善事業として居士の遺墨並に、居士に縁故深き六大家の傑筆を同好の士に頒たん主旨なれば、幸に誤解なく廣く賛成あらんことを乞ふ。若し此の機を逸せば他日百金を投ずるも此の如く大家の肉筆を合せたる珍品は容易に得られざるべし。

畫帖寸法。表紙裝美。泥金入箱。竪一尺二寸五分。橫九寸三分。
貼込用紙は大畫帖の六十六…御所得の後ち軸物に仕立直さんとせば
六大家の肉筆六…子規不折兩先生の光筆畫十幅合計十六幅の掛物
用紙は軸物…家寶として永久愛玩せらるべし。

規定

一、會費金拾五圓（外に居宅代金引換小包郵便料四十錢、朝鮮臺灣樺太等の植民地は六十錢を要す）
二、申込金等一切不要。會費及送料は揮毫及裝幀出來の節居宅代金引換小包郵便にて現品と引換への事（但し植民地等居宅代金引換小包郵便を取扱はぬ地方は普通代金引換小包郵便の事）
三、申込期限三月三十日而し申込餘り多數なる時は期限內と雖謝絶する事あるべし（畫帖は申込順により迅速に配附す）但六枚は（肉筆）揮毫なれば申込一時に多數なる時は配附多少遲延する事あるべし。
四、本會の擧及此の擧に賛同せられたる諸賢の芳名等を永く後世に記念せん爲め會員名簿を作り、卷頭に子規居士の肖像（寫眞版）を附し會員に一部宛贈呈す。但名簿に記載を望まぬ方は申込書に其旨記入せらるれば削除す。名簿贈呈は會終了後の事。
五、入會者は端書に『子規居士十五周忌記念畫帖頒布會に入會致候揮毫及裝帖出來の節は居宅代金引換小包郵便にて送附相成度候』と記し住所姓名を明細に記入して（東京麹町區元園町一ノ一九中央出版協會）宛て投函の事、尙左記兩所にて申込取次す。

追て規定其他に不明の個所あらば御申越次第別に印刷したる規定書に申込用端書を添へ送附す、會は第一回會員諸賢に謹告す、會員名簿は疾に贈呈致すべき處、第二回會員募集をなす事となりたれば、兩回分共合せ編纂することゝしたるより隨て御贈呈期延引致すべく、右惡からず御諒承を乞ふ

東京麹町區元園町
中央出版協會
振替東京二八三八一番

申込取次所
東京牛込區河原町一二　ホトトギス社
東京下谷區上根岸町八二　海紅社

富の道しるべ　村上唯吉著　京城日報社代理部

一、鉛塊壹萬五千貳百封度　右購買ス詳細ハ貳拾壹日以後朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

給費傳習生募集　電信通信事務ニ從事スベキ乙種傳習生約五拾名募集…　大正七年二月　朝鮮總督府遞信局

御暇乞　拜啓　急ニ出發スルコトニ相成候ニ付作畧儀新聞紙上ニテ御暇乞申上候　敬具　森京右衛門

京城古市町電話二七四六番　硝子工場　主　畑六　…一般の御注文に可應

京日案內

乳母入用　生後四ケ月の女子　京城古市町　若米地商店　電話三一〇八番九四一

機關士入用　船舶發動機々關士免狀を有する者一名採用す　仁川本町　川井田商會

月收入の御方へ祕密迅速に御相談に應ず　大和町三の二（柄澤前）

看護婦募集　外勤多忙有免狀者本人來談　午前中　南山町三　宮林看護婦會　電話一八一七番

工場係及庶務係員入用　三十歳迄本人履歴書携帶來談あれ　西大門町一丁目　東西煉瓦商會

古本高價買受　御報參上　明治町通　野村書店　電話三〇五〇番

派出看護婦募集　京城明治町二　惠愛看護婦會（電話一四一〇番）

募集　新聞配達人數名　希望者履歴書携帶本人來談　大漢門前　盛文堂

有給社員招聘　社員あり至急本人來談　京城黄金町二丁目一八　横濱生命保險株式會社支部

恩給年金立替　三年分迄無保險　京城若草町金光教會裏手　國江商會　電話三三九

鑛物各種分析　明治町二　郵便局裏通　電話長二七七　田部分析所

店員募集　二十歳より二十五歳迄の經驗あるもの希望者は至急來談あれ　京城本町　ますや呉服店

外事社員　採用相當數　二十歳以上妻子あるもの履歴書携帶　京城南大門通一丁目一八　大同生命

第四十回帝國議會 (東京特電)

貴族院(二十日)

▲豫算總會 二十日午前十時開會、高橋作衛氏現時日本人間に漢字の智識缺乏せる事甚しく外交官等は此點に關し對支外交に支障を來す事なきやと問ひしにより▼岡田文相より當局の漢字教育に關する施設を説明し差ち▼本野外相の答辯に依り秘密會に入り高橋作衛氏、阪本釤之助氏及び阪谷芳郎男、松平直之伯等の諸氏主として對支外交、露國の現狀及び東淸鐵道問題、米國輸出入制限問題に關し質問する處あり▼本野外相之れに應じて委曲答辯説明し秘密會の儘同十一時五十分休憩せり

▲各委員會開會 貴族院は廿日午前十時より精勤委員會、登録稅法委員會、遠洋漁業獎勵法委員會、軍用自動車法委員會、朝鮮事業公債法委員會を開き尚は同午後一時より臨時兵役特別法委員會を開きたり

衆議院(二十)

▲各委員會開會 二十日午前十時より請願第三分科會、徴兵令中改正法律案委員會、大正六年勅令第二百二號(承諾を求むる件)委員會、地租條例更生及び公益法人の所得稅免租に關する法律案委員會を開き何れも同午後一時より爆發物取締罰則廢止法律案委員會、優良職工獎賞に關する建議案委員會、請願第四分科會を開會したり

▲決算委員會 衆議院決算委員會は二十日午前十一時開會富田委員長は大正三四年度總決算及び特別會計決算を一括し議題とする旨を宣し直ちに大體の質問に入り高橋光威氏(政友)より勝田藏相の出席を待ちて審査し度き旨希望あり同四十分散會せり

●我代理公使に交渉 孟督軍より中央政府に密電

吉林孟督軍より長春哈爾賓間鐵道附近に多數の日本軍隊駐屯するは國權を害する所爲たるを以て余自ら交渉し一面中央政府も嚴重交渉を乞ふとの密電二十日到來外交總長は直ちに吉澤代理公使と會見し少時の談判を重ねたるも結果何不明なり(北京電報)

●李純氏公金押收

李純氏は江蘇省より中央政府への送金二百四十萬元を押收し同金員を特別の費用に充當する旨十九日發明せり(北京特電)

●曹錕氏策戰電奏

北軍司令官曹錕氏は百日以內に討伐戰を開始すべき旨北京政府に打電せり(北京電報)

●倪氏安慶に向ふ

倪嗣冲氏は十八日安慶に向つて出發せり(北京電報)

●退隱恩給新令 近日議會に提出

朝鮮總督府は同府官吏退隱料及び遺族扶助料を制定し同時に併合後引續き總督府に勤務し來れる鮮人官吏の恩給年限を通算することゝなす由同案は目下拓殖局にて調査中右は全文六箇條より成り近日法律案として議會に提出せらるべし(東京特電)

●軍港境域圖改正

海軍大臣は同省令第二號を以て軍港規則中鎭海要港規則中軍港境域圖を改正し二十日付官報を以て右の事項を公布せり(東京特電)

●炭鑛社長等南行

東洋炭鑛會社長上仲尚明、國圖炭鑛專家安川淸三郎、京城廣江澤次郎氏等は何れも廿日朝奉天より本夜京城へ向け南行せり(奉天特電)

●兩殿下御展謁

李王兩妃兩殿下には廿日德壽宮御新聞李太王殿下を御訪安相成りたる事は夕刊所報の通りなるが同日午後一時三十分兩殿下御同列にて璿源殿及び昌老殿に御展謁あり次で李王殿下御單獨にて靈孝殿を御展拜相成りたりと因みに當日は閔長官、國分次官、玄儀式課長、柘本署長等隨行したり

●京城最近商況

米穀綿絲布や軟弱の傾向を示せし米穀は內地市場の好況に伴ひ當地市場も相當活躍し平均値段三等合米一石二十圓二十錢臺にて前年同期に比し七圓臺に騰貴したるが船不足の爲め移出困難となり從つて産地よりの出廻多からず。牛皮は各百斤に付大皮(二十五斤以上)六十圓、中皮(二十斤見當)五十圓、小皮(十斤以下)六十五圓の平均相場にて出廻るに從つて賣行たれど生牛高の關係上前年同期に比し出荷約四萬圓以上を減じたり、次に移入品たる綿絲布は月中旺盛なる配強硬にして賣行見好なりしが當後大阪市場不況に陷りたる爲め當地も稍や鈍狀を呈し三A印金巾は一反金三百十五圓最低値二百九十圓の間を上下し差したる商勢なかりしも地方農民間に在りては穀價騰貴の爲め手元潤澤となり舊節季を控へたることゝて一般に購買力を喚起し綿布、雜貨類の商取引稍や頻繁の觀に越月せり今京城稅關出張所の取扱に係る本月中の當地貿易額を聞くに輸移出品價十九萬五千七百七十四圓、輸移入品價百七十六萬四千五百八十四圓合計百九十六萬三百五十九圓にして之を前月に比すれば輸移出に於て五千七百八十一圓を輸移入に於て五十二萬二千九百五十圓を減少せり而して更に之を前年同期に對比する時は輸移出に於て五萬五千九百十四圓輸移入に於て七千八萬四千二十九圓の增加を示せり(京城商業會議所調査)

●小麥買收戰起らん 未だ大手筋買占の形跡無し

暴利取締令の小麥粉に及ぼさるべしとは屢く內地新聞紙の報ずる處なるが內地巨商の小麥粉買占は甚だ猛烈にして其結果産地相場は

▲最近十九圓餘 を唱ふに至り未曾有の暴騰を告げたるも地方農家の●●は既に十四五圓臺を見切相場として手放したる後とて斯る高値も農家を利せざるは勿論却て製油醸造原料の拂底を來し頗る困惑の狀あり一方巨商の手は遠く滿洲に延び頭も頻りに買占めを爲しつゝありと傳へらるゝ折柄朝鮮に於ても所在小麥の買占を行ふ者ありとの觀あり其實否は未だ當局にても判明せざるのことなるも而かも竟に

▲其事の有り得べきは想像し難からざる處なるが元來小麥の産額甚だ多からざる朝鮮に於て果して買占めを行ふべき餘裕を存すべきや總督府の調査に依れば大正六年の小麥實收豫想高は百十萬九千餘石にして同年中の輸移出高十六萬二千餘石を控除し九十餘萬石を有する譯なるが同年中の小麥粉輸移入高一千三百二十二萬斤に上れるを以て之れを原料に換算すれば小麥八萬六百十六石に相當し小麥輸移高の過半は加工の上再輸移入されたると同樣にて結局八萬餘石の

▲輸移出に過ぎざること 成り初春以來の輸移出及び內鮮製粉業者の消費原料を如何に多く見積るも五六十萬石の在荷と見なかるべく●等は內地商人の注意を免かるゝ道理無きに依り或は遠からず買收戰の捲起さるゝ無きを保せず消息通は語れり

●鐵山經營に就て 西崎鶴太郎氏談

[illegible]載寧鐵山の經營者西崎鶴太郎氏が服部

▲製鐵所次長 の一行に隨ひ山東省金嶺鎭鐵山視察のため門司より同地に向ひたるため大正七年より採掘せらるゝ事となり居れる同鑛山の採鑛を西崎氏引受くるに至るべしとの説を生みたるが同氏に就き聞く所に依れば服部所長の一行と金嶺鎭に赴きしは製鐵所の臨時囑託として鐵山採鑛計畫の實地參考に資せんためのみ同山の採鑛を予に於て引受くる如き事は絕對になし恐らく同山は山東鐵道に於て採掘經營するに至るべし唯予の經營せる

▲載寧鐵山 は現採鑛所を距る一里の地點に於て新に採鑛所を開き大正七年には八萬噸を下らざる鑛石を採掘する計畫にて目下切りに準備を進めつゝあるが多分來る三月中旬頃より全力を注ぎ得る事となるべきか

●運賃は軟調 內鮮航路船腹餘剩あり

出穀の盛季既に去れると各港に於ける船腹の十分なると更に鮮內米は例年少なからざる模樣なるも一般に惜みの傾向あるため各港廻著穀類存外多からず殊に釜山の如きは大阪商船、尼ケ崎汽船、朝鮮郵船、互光商船各社船の寄港[illegible]わず又京管對澤山商會通帶の船舶あるに付稍もすれば船腹の供給は貨物を超過する傾きあり旁々社外船の寄港するものは鮮航行百石十噸位にて積載し行くを以て商船、尼ケ崎、朝郵、澤山各社所定の百石百三十圓は突き崩されんとする形なきにしもあらざるが各社に於ては目下の所値下等の擧には出でざる模樣なり

●軍人後援會現況

本月十七日現在調査帝國軍人後援會朝鮮支會の狀況を聞くに會員總數二千百廿七名中有功會員六名特別會員百十六名通常會員三百七十九名贊助員千六百二十六名なり而して之を各道別にすれば京畿道百八十四名忠淸北道二名忠淸南道一名全羅北道千六百五十名全羅南道三名慶尙北道二名慶尙南道二百六十名黃海道三名江原道三名平安南道及び同北道一名も無く江原道十八名咸鏡南道四名なるが尙目下各道共會員の擴張に努め大に好績を擧げつゝありと

大阪財界便り

△上海取引所創立 上海取引所の創立に就て創立常務委員宮崎敬介、[illegible]三郎、山本條太郎、志方勢七、藤野龜之助諸氏は去月二十九日支那人側の贊成人並に役員候補者の取極め營業場所及び支那人側持株の取極め等の爲め渡支し十五日歸阪せり支那人側の代表者贊成者二十七人に達し持株割當は最初二萬株の豫定なりしも支那側は十二萬株の申出にて確定するに至らざりしも重役として支那側より取締役一名監査役一名を就任せしむることになしたりと營業所は共同租界にて三箇所の候補地を物色したるを以て近日發起人會を開き決定すと尚支那側に對する持株割當を協議し公募株數を確定すと

△採掘出願增加 最近農商務省の發表したる鑛山試掘許可件數は八十三件にして其內石炭採掘は三十八件にして百萬坪內外の出願十七件を主として總件數二千四百四十三萬七千八百坪に上り石炭は供給不足の結果此種の採鑛多きを示し又金銀銅を主として亞鉛、錫、重石、硫化鐵を含む試掘許可件數は二十三件にして九十萬坪の件數八件を主として坪數千三百卅一萬七千八百坪に上り次に鐵鑛は僅かに六件二百八十二萬二千八百坪に過ぎず其他流砂鑛十件安質母尼鑛一件あり要するに石炭に著目するもの多きを示せるが此中採掘に便利にして有効の鑛區は約十分の一內外とするも約二百四十四萬坪の大鑛區を發見する譯なれば石炭缺乏の折柄是等の許可炭鑛は有名の資本家を求め早く採掘の要ある可し

△織物の製産額 各織物産地一月の出來高は八王寺の製産高第一位を占め各種織物十萬三千七百三十三點價格百十二萬六千三百六十一圓にして前年一月に比し一萬三千八百二十一點價格五十萬八千九百十八圓の增加を示し八王寺機業が特に改良に努力し品質模樣に於ても相生、足利、伊勢崎を拔き斯界の重鎭となれる觀あり又綿布の改良に就ては名古屋地方の廣布織布の發展にして大正元年の同織機六百十三臺なりしもの五年には二千三百七十二臺約四倍を激增し來し六年にも約六七臺の增加あり目下は三千臺に達すと

△米綿低落持續 三井物産入電十三日紐育著米綿は更に七十錢安を入れ連日低落持續の狀なるが其原因は米國金融の切迫と輸出入品禁止の方針等人氣沈衰に陷りし結果にして暫く鈍調を持續せし狀況なれば今暫く下向きを見て紡績業者は買氣を起すやも測り難し又同日正貨要電報綿は高値持續の反動として一圓を示せり(大阪)

●獨露休戰條約消滅

十七日獨逸公報に依れば獨露休戰條約は十八日正午を以て消滅こす又露國赤衞隊がウクラインにて亂暴狼藉を働くに付き獨逸の援軍を乞ふとの請願書を送り來れりと(ベルン電報)

●日本行羊毛の解禁

英國政府は濠洲政府に對し日本行として羊毛=政府用一萬九千俵民間用二萬五千俵合計四萬四千俵の解禁命令を發せり其積出期は未だ不明なるも三月下旬頃ならん(倫敦電報)

●波蘭革命切迫す

波蘭は今や國內革命の機運熟し將に勃發せんとしつゝあり(倫敦電報)

●對諸威協定成立

諸威國と米國並に聯合國側於て交渉中なりし協定成立せり(倫敦電報)

●羅獨大會戰近し

羅馬尼獨墺軍の戰機愈々熟し近く一大衝突を見んとしつゝあるを以て羅國は英軍總司令官ヘーグ元帥に策戰上の交渉を爲せり(倫敦電報)

●京城市場賣上高

京城府に於ける魚菜其他に關する市場の主なるものに就き當商業會議所の調査に據る客年中の賣上額を聞くに左の如し

南大門市場外七市場の賣上總額は四百四十七萬八千四百十五圓なるが內南大門市場の賣上高百七十萬七千三百圓を最高とし東大門市場の百二十八萬七千四百圓、中央集散の七十一萬一千三百八十七圓京城魚市場の二十二萬六千四百八十三圓南米倉町市場の十四萬六千三百二十八圓京城食料品市場の十四萬七百七十七圓龍山市場の十四萬零七圓日の丸市場の十萬八千七百三十三圓等之に亞げり

■百圓百話■

吉林に外軍收容所と云ふのがある其處には獨墺の俘虜が四十餘名居る▲俘虜と云つても支那兵が勇戰奮鬪の末捕へたものでもなくそれは露國から逃げて來た連中である▲處が支那官憲の之を遇する事は頗る叮嚀なもので宛然珍客扱である▲將校一日の食費は一元五十角月四十五元の割で兵卒は一日九角月二十七元の割であるのみならず▲此の外將校には一ケ月六十元兵卒には三十元內外の小遣が支給される▲俘虜とは云ひながら食事にも小遣にも不自由なく殊に外出散步も自由だし全く親類の處へ客に行つた樣なものだ▲支那の方では之等の費用は平和克復後獨逸から償還して貰ふから金には敢て絲目を引かされぬとか云つて居る相な▲處が其處にまた大な餘德とやら德澤とやらがある相で最近鳥渡珍談が持ち上つた▲先達の事一人が十元宛と云ふ洋服を作つて俘虜に渡した事がある▲すると多謝々々で喜ぶ筈の俘虜が大立腹▲此の樣な洋服が五十元もするものか現金でやると默々を捏ねた▲すると收容所の役人等は大に恐慌早速銀一元宛を返して何うか之で內濟にして呉れと申込む▲俘虜の方ではいつかな承知せず督軍に上申すると鼻息が荒い▲役人連は這は大變と結局一著に付銀十五元宛を吐出して漸く穩便にさせたとけちんだ喜劇の一幕

●輸入制限不可 ▲非常の雜事にして一[illegible]輸入制限が如何なる[illegible]日本に取りては[illegible]我國の最劣の手段により日本國民の國を擁護することなきを望むのみ ▲通商制限を行はざるべ[illegible]

[illegible]四日午前五時[illegible]同部主任井上常吉共に檢事局へ送らる

●[illegible] の大部分は自己の財布に移し[illegible]二十四錢を[illegible]

誰にも解る米株相場の早道 [illegible]新著 ▲金九十錢送料四錢

相場必勝秘傳

極めて簡明に相場の眞髓を說斷す 引の秘傳 大勝に公開したるものは本書なり 以て空前の大相場に乘せよ 大日本法學士 辯護士 [illegible]著

改正政名自在 其手續ト總テノ書式 本書は多年取扱ひたる實務と經驗に依る諸法規に精通せる學者の著作に成る。伺、指令、願、屆の文案の一切の手續を網羅し而も文章平易にして一讀了解し易からしむ 總布上製▲八十五錢送料四錢

信用利殖秘傳 四割乃至廿割 安全確實に公債、債券に依り資金を四割以上に運轉し得る事實を詳說し且債券に[illegible] ▲四十錢送料[illegible]

小資本活用法 油斷するべからず小資本を巧妙なる運用と強大なる利力を發揮する基礎たるべく本書は一圓の小資本を巨萬の利に至らす方法を詳說す

偽物書名に注意 發行所 東京牛込新小川町 同仁社 振替三一八四二 發賣 文昭堂

最新刊

書名	著者	定價
朝鮮敎育者必携	朝鮮敎育研究會	二、五〇
精細調査面制郡島里洞名稱一覽	張熙[illegible]	六五
朝鮮商産便規	吉川萍水郎	七〇
改正朝鮮司法警察法規集	藤沼武男	五〇
日本語讀かた帖	島村不老	四〇
打碁と要領	野澤竹朝	一、二〇
文字を崩す法	[illegible]	九〇
人體系統解剖學	鈴木文太郎	四、五〇
體質遺傳の實驗	外山博士	一、二〇
誰にも出來る美容の仕方	成瀨慶子	七〇
叢何光學論文集	[illegible]譯	二、五〇
立憲勤王論	尾崎行雄	七〇
簡易生活の實例	西村文則	九〇
支那文明記	宇野哲人	一、四〇
青年敎師の進むべき道	明治敎育社	一、三五
ハツサライトアンドリード	湯良	一、五〇
日本の佛敎	境野黃洋	一、〇〇
空の戰	磯部海軍少佐	八五
浪六傑作集	村上浪六	一、二〇
全譯 サニン	アルツイバシエフ	一、〇〇
何處に行く	シエンキエヰチ	一、一〇
朝鮮地誌	朝鮮[illegible]社	二、五〇

大阪屋號

▲書籍御案內▼
岡本三藏 商工業の七十日 價五〇 郵稅六
同 修學行商日記 價三〇 郵稅六
同 紐育市內外の地所 價九〇 郵稅六
京城太平通壹丁目 京城日報代理部 電話長六〇、三六番 振替口座京城三〇〇番

科學界工業界の名著
需要激甚重刷成る!
再版 理學士 鑛床地質學 定價金三圓 郵稅十二錢
四版 鑛産物工業分析法 定價金三圓 郵稅十二錢
三版 今西抄紙試驗場長 製紙の學理と實際 二圓八十錢 郵稅十二錢
三版 寺尾博士 藤野教授 理論應用算術講義 二圓八十錢 郵稅十二錢
四版 島田九州工大教授 化學工業講話 一圓六十錢 郵稅八錢
再版 東京高工十五教官 國民教育工業講話 定價金二圓 郵稅十二錢
東京神田 富山房 振替一五〇

生徒募集
本年四月左記各科第一學年ニ入學セシムベキ生徒ヲ募集ス
本校 染織科、應用化學科、窯業科、土木科、建築科、鑛山科(各科ヲ通シ)朝鮮人 內地人
附屬工業傳習所 金工科、木工科、陶器科、織物科、化學製品科(各科ヲ通シ)朝鮮人 內地人
詳細ハ貳月九日以後ノ官報又ハ直接本校教務係ニ問合スベシ
大正七年貳月
京城工業專門學校

品質の純良は內地品を壓倒し、賣價の低廉は需要を喚起す
サクラ A印 片栗粉
元山本町 熱田商會 電話五一番
京城代理店 京城南大門驛前 松原運送店 電話一七〇番 振替口座京城二六番

特約店 (いろは順)
左記特約店に於いて販賣致候間何卒御用命被仰付度願上候
今般小店共義熱田商會と特約致し一手販賣引受候間御注文願上候
池尻商店 京城南米倉町市場 電話三五一番
辻本商店 京城南米倉町市場 電話(七五)(六四一番)
上田商店 京城南大門通二丁目 電話一、五〇七
柳井商店 京城南米倉町 電話一、三七九番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話 [illegible]
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、羣山、木浦、馬山、城津、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

內科 胃腸病 診察夜九時迄
石川醫院 京城本町一丁目 電話二三七、二九

…米國は戰爭用船腹を得るが爲め比較的重要ならざる貿易一部に制限を加へんとするは之れ…商事務に與れる當局者は或程度の經驗能力あるべきも斯の如き緊急なる仕事には偷安心から離しとて…爭の必要より見て之れを除斥すべきものとするも我同盟國たる日本の多數民衆は之れが生產に從事す…るべく米國に取りては其影響輸…延も

▲慘害に優る ものあり此…期待するものなるも唯船腹を得るに熱心なる餘り知らず識らず伯剌西爾及び日本の如き誠實なる同盟…所謂に影響すべき一層緊密せる大事業を遂行する能力ありや戰爭遂行の爲め

◉本宿の大金強取 全南…朧水山碑祖精米部雇人原籍高知縣…新井村橋本德市（二〇）は去る…道を逃走せしが鹿水警察署の活動により同日午前十一時頃順天へ入…酒酩酊し現金四圓七十錢入の墓口を火鉢の側に置きたるを窃取し…たる所を取押へられ一件書類と…

住宅問題

▼衛生上から觀た位置と構造

‖先づ乾燥した土地‖
‖空氣のいゝところ‖

衛生上から見た住宅、これはいふまでもなく必要な事である、一々註文を出せば殆んど限りがないければ第一に注意したいのは位置である、衛生の土地は元來常によく乾燥して居れば大抵の所は住宅建築地に適するやうに思はれるが特に其地を相する事に心を用ひねばならぬと思ふ、然らば何んな

土地がいゝかといふに先づ高燥

にして飲料水がよく樹木があつて日光がよく透る所でありたい、若し低い土地とすれば四方が開けて地區の廣い所然して附近に四時靡香を發する工場や電車鐵道線と多少離れた所であつて欲しい、京城では裏面山地帶の地區が以上の條件を具備してゐるやうに思ふ、位置が定まれば次ぎには光線、空氣、飲料、下水の排泄、濕氣の豫防、不潔物の掃除と消毒等

構造上の諸點から考へて衛生的

の住宅建築に取斷りたい、そこで先づ住宅と日光と空氣の關係であるが醫諺に『光線の來ぬ所に醫者が來る』などといふ事がある通りこの問題は住宅建築者の間に喧ましく言はれてゐるところであるに拘はらず事實に於いて行はれてゐないのは遺憾である、如何に立派な家でも日光の十分に差し込まない家には病人が出來易い、これには二つの理由がある即ち光線が直接人體の體に働いて

皮膚を丈夫にし神經を刺戟して

血液の循環をよくすることゝ、空氣を傷ふて來る傳染病のバクテリヤをこの日光が射殺すことである、故に室內は成るべく多くの光線が這入るやう特に東西に窓を造らねばならぬ但し西日は有害であるから次ぎに必要なのは空氣で常に新鮮な空氣が滿ちて居るやうに心掛けたい、言ふまでもなく不純な空氣は人體を害ふことは非常なものであるからである、更に亦必要なことは飲料水の良好であるがそれと同時に

汚水の排泄を十分にするといふ

ことが肝要なことで若し不潔な水が一箇所に十日も二十日も溜つて居れば其處から乾度恐るべきバクテリヤが發生する、であるから住宅改良豫定に方つてその排除を研究工風するは勿論その掃除も常に怠つては可けない、赤蚤所も廣い事、西向きでない事、鼠害の豫防、煙突しに注意する事、土間床下を凝結にする事、水舩、竈貯藏場は離して置く事等も衛生上のみならず臺所の便利の上から言つても重大な事である（某醫師談）

◉肅親王

‖東上の動機‖

前清皇室の重鎭肅親王は今回渡日の決意をなし愈々本年四月頃上京されるといふことは既に報じた所であるが同親王は曩に可愛い王子女を福島大將と川島浪速氏とに委ねて東京に遊學させ自分は殆ど一年中所定めぬ國內旅行に月日を送つて辛も憂悶の情を抑へつゝありしが東京に在る子女の身の上は一刻も念頭を去らず學業進步の樣子を眼の前に見たいとの念が潜んで居た處へ偶々川島氏の慫慂もあつて遂に渡日の意を固うするに至つたといふ事である（大連）

◉女の犯罪

‖著しく增加す‖

大正四年度と同五年度に於ける民刑事犯罪統計は昨年十二月中司法省で調査完了となつたが著るしい現象は

◆女性の犯罪 が四年度よりも五年度の方が八百九十八人を增加してゐる、之は實に憂ふべき事であると言はねばなるまい夫れで今凡ての犯罪を一括して言ふと窃盜詐欺等は多少減少したが賭博は非常に增加し殊に意外とする所は無教育者の犯罪が却つて減少し

◆高等教育を 受けた者の犯罪が增加した事である。而して大正四年度の確定裁判を經た有罪總人員は十五萬六千百七十二人で內女が一萬二千五百八十二人、五年度の總人員は十五萬七千九百六十六人で

◆女は一萬二 千四百七十一人を算して居る夫れで商業教育を受けた者は四年度九十人、五年度百五人、中等教育を受けた者は四年度八百八十六人五年度八百五十三人、普通教育ある者は四年度二萬三千八百九十三人五年度二萬五千三百四十二人を算してゐる狀況に在る、又

◆讀み書きを 爲し得る程度の者は四年度三萬三千七百三十七人五年度三萬二千七百二十二人全く眼に一丁字なきもの四年度一萬六百七十二人五年度九千七百十八人となるのである即ち

◆普通教育 を受けた者の犯罪が甚だしく增加し中等教育を受けた者の犯罪が稍減少し無教育者は更に減少せるに拘はらず高等教育を受けたものに犯罪增加の傾向あるは誠に遺憾とすべき所である

♣温暖 ‖太平町通にて‖

◉安東の火事

損害四千五百圓

十九日午後八時三十分當地四番通六の四下駄商小川佐一郎方より出火忽ち四方に燃燒して熾んなる猛火となりたるも消防迅速なりし爲め六戶燒失午後九時十五分鎭火せり因に損害額は約四千五百圓にして右失火の原因は炬燵の不始末よりなりと（安東特電）

◉窮民收容所 建設

▲奇特なる金周弘氏

全羅北道求禮郡馬山面冷泉里五百十番地金周弘氏は今回窮民（乞丐）救護の爲自費を以て收容所を建設して之が收容救護をするに至れるが目下緊急に應ずる爲め假收容所に收容しあるも工費二百圓を計し新築中にして收容人員二十名定員とし目下九名の收容を爲せる者は其狀況に依り手仕事を督勵し而して收容者にして業務に堪へ得る者は其收益の幾分を貯蓄せしめ、其他每月二三回附近寺院二箇所の僧侶に交互出張を乞ひ說教せしめ精神の修養を計り收容所に監督者を置き郡廳分遣所之が指導監督をなすことゝなし而して收容者一人一日分の經費約十錢として廿名一箇年分七百二十圓の豫定にして此經費は全部金周弘氏獨力之を負擔すべしと因みに同氏は畓七千斗落を所有し每年三萬五千圓位の收益ありて其經費の支出は容易なりと

◉武術大會番組數

來る三月五日憲兵隊司令部道場に於て開催すべき全鮮憲警武術大會に關しては目下關係職員に於て鋭意準備中なるが擊劍三十組柔道十組の取合ある由

◉高等女學校の雛祭

京城高等女學校にては來る三月二日（三日は日曜に付）雛祭に因み同校第四學年生徒作法及び家事演習會を開催し府廳吏員及び學校組合議員等を招待し午餐を供すべしと

□□明治天皇御尊像と御同列にて 青山の神宮外苑に 昭憲皇太后御銅像建設

曩に田中光顯伯より帝室に奉献したる明治天皇陛下の立像等身大の銅像は目下禁苑の庫裡に納められてゐるが其後引續き

▽土方久元伯 より帝室に奉献さるゝ豫定の昭憲皇太后陛下の立像等身大の御銅像に就ては目下その鑄型の原像となるべき塑像を鑄金大家岡崎雪聲氏が謹製中なりそしてその最も大切なる部分の上半身の原型は既に審職中作製を終り今はただ脚も終り

▽來四月上旬 避寒地より歸京の鄕原二位の局の檢閱を仰ぎ次第更に同月中に京都に持參し同地在住の老女官數名の檢閱を經ればそれにて愈々鑄造に取掛り遲くも本年末迄には全部の竣工を見る豫定なりと愈竣工の曉には國民の

▽一般拜觀に 最も適當せる土地を選びて莊嚴善美を盡せる臺石を築きこれに明治天皇陛下の御銅像と御同列に奉安する事になり居れりその土地に就ては最初吹上御苑內といふ說ありしも國民一般の拜觀に便利ならしむる主旨より代々木の明治神宮內苑といふ說ありしがそれも

▽最近に於て は變更されて青山なる明治神宮外苑內といふ事に決定されたり右に就き謹製の光榮を擔ひ日夜潔齋して製作に從頭せる岡崎雪聲氏曰く『御尊像は洋裝にて御立像におはしまし竣工の曉は青山の神宮外苑に奉安されます事に承つて居りますが何分にも畏れ多き御尊像の事ではあり殊にまた御女性の御尊像でありますので御生前陛下に奉仕されし老女官たちの下檢分も

▽非常に綿密 なるため意外に製作の上にも日數を要しますやうな次第で御座いますしかし遲くとも本年中には全部竣工の豫定で御座います』（東京）

◉京城今昔 消防の話（二）

‖消防も文明的に‖

勇氣と秩序がなければ

京城には李朝開國の當初から軍隊の消防はあつたのである故に各軍隊に鐵だとか鉄、引網、桶、釣瓶等の消防器具を備へてはあつたが併し實際に於ては使用せず何等の効果もなかつたのである。而して今の消防隊組織はと云ふと年々進步しつゝあるが前と違つて家屋の構造や發火の原因やが文明的になつて來るので消防方法も

■手と水で消 す樣な昔の消防方法では効果が擧がらない樣に

で消す事即ち腕力の働きで火災に對する防止方法を講せねばならなくなつた故に今の消防には水と手の外に物理化學の應用を知らなければならず機械の一般の構造をも心得てそして又之に對する勇氣と秩序とがなければならぬのである其の狀態は恰かも最近の戰術と同じ樣なもので昔の

■消防操典は喞筒 操縱方法のみであつたが今日の操典は右の外に消防方略即ち消防の戰術を含む事になつたのである現在京城に於ける消防の組織は常備消防と云ふ寫眞にある通りな制服を著したる消防專務のものが出來此外に義勇消防組なるものが五組あつて常備と相呼應して萬一の場合に處する方法になつたのである、常時進步した消防機械の主なるものは

■自動車喞筒 自動車梯子潛烟器等であるが京城には常備消防隊に漸く自動車の水管車が一臺先頃篤志者の寄附に依つて出來たのみで他は馬でトコトコ走る蒸汽喞筒と水管車も人力で挽く水管車救助梯子、腕用喞筒等である日本の家屋は大概木造であるから瞬間に燃え擴がるのに之を消しに行く機械は人や馬で挽いて行くなどは誠に迂遠な話しである況んや

■人が挽いて驅けて 行くなどは一般の進步に遲れてゐること甚しきもので今の消防手には一般消防方略の智力的注入を爲す外體力以上の勞働を要求して居るのである昨年十一月十日昌德宮炎上の翌朝櫻井町に十五戶延燒の大火の時消防手は前日昌德宮の消防に疲勞した爲思ふ樣な消防が出來なかつたのであるかの

■人が想像し 同情して呉れるが消防手は皆兵隊出の元氣者を採用してあるので倒れるまでは最初から挫けぬ元氣を以て働いて居る現にあの時の消防は前夜來の昌德宮の火災消防に興奮して居た折からであるから到著も早く消防方略も仲々上手に出來たのであるが只最初火災の通知に接するのが遲かつた爲延燒したのである

（寫眞は制服を著けたる消防組）

◉永浦基金寄附

永登浦面事務所及び學校組合に對し左の諸氏より金品の寄贈ありたり

▲白米一石（宮氏へ）永登浦高瑞宮八氏▲石炭一噸、永登浦小學校へ（京城大平通り西崎源太郎氏▲金三十圓（同石炭代の內へ）永登浦松本氏▲金十圓（同學校組合基本金へ）永登浦後藤榮充

■この間二丈餘の積雪に鎖されて區民全部が凍死した岐阜縣の萬波區は三十數戶の部落で富山と岐阜の境界にあるのだといふ▲幕府時代から境界論で喧ましい處で村民が杭を拔いては互に他國の領地へ打んだ込むものだ今では大きな石の柱を打ち込んで境界を動かせぬ樣にしてある▲白山の麓の山地丈けに雪に埋められるのは珍らしくない、材木には豊かな所で家內の大きな圍爐で大火を焚きつけてゐるから凍死する筈はない▲今回の死は全く食物の拂底から來た餓死であるといふ。この邊は蕎麥や豆以外穀物が出來ず炭や材木を里に出して暮してゐる▲兎に角原始その儘の山里で麻織つた著物を著てゐる、結婚なども大低は血族同志から成立し▲經濟上耕地を潰して家を建てるのを恐れて可成家數を殖されぬ事に努めてゐるから一軒の中を細かに割つて其處に幾世帶も暮してゐる▲炬燵も四尺四方といふもので布團類の尠い處から此の周圍に殆ど寢、夏は足をまわりから布團に入れて車坐に寢る▲何にせよ谷を越え澤を渡り三里出て漸く山里へ通ずる道に出るといふ山間だから村中が全部親類で、昨日迄一つ家の中で戲れた娘が今日は其妻になつてゐるといふのである

新滋養劑 レグモン

肺結核に對する理想的滋養劑としてレグモンの賞用せらるゝ理由

（一）其八十五プロセントは吸收せられ易き蛋白質なるを以て速かに榮養を增進し一般機能を佳良にし衰弱を防止す、

（二）肺結核に對し一種靈妙の作用を有するカルチウム鹽を含有するが故に病勢の進行を止め、食慾を進め、營養物の吸收を佳良ならしめ、血液の濃度を增す

其他レグモンは總ての病中病後の衰弱に極めて有効にして現今醫界の信認最も厚し

定價 百グラム入 金壹圓貳拾錢 貳百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢

大阪市東區道修町 一手販賣店 武田長兵衛商店

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士加古貞太郎先生序文
韓國財政顧問附屬官小笠原寛先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

大正七年一月一日現在・正誤表附・總クロース金文字入・菊版千百五十頁・定價金三圓・郵稅十八錢

府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査と相俟て朝鮮全道の行政區域は確定せり然れども未だ一目瞭然たるの書籍なく執務上は勿論參考上將又朝鮮に精通せんとするもの此不便と其必要を高唱せられつゝある折柄著者は聊か之に便せんが爲め即ち本書を編纂せり

本書は前記の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるものにして一目瞭然たる道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日、鮮、清、西曆の詳細なる對照年號を示し管區數、人口、戶數、道路里數、各道の廣袤、交通、產物名稱、舊跡、溫泉其他の概況を掲げ

本書は官廳を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他苟も朝鮮に關係を有する士の須臾も缺くべからざるの必携書なるは勿論內地と朝鮮との關係は諸事日に密にして殆んど隣家の感あるに於て益々其の必要なること敢て多言を要せざるへし

實際に等しき價格を以て發行せり部數に限りあり諸賢速に購求せられんことを請ふ

發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部 電話三二六。六六番 構內一八番

金銀賞牌廿四個受領

なるほど 美味である 滋養がある と 賞讃されつゝある

蜂印香竄葡萄酒

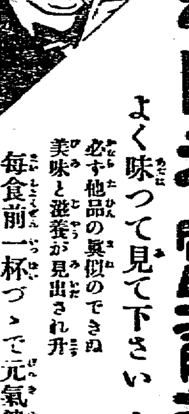
よく味つて見て下さい！

必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が見出され升

每食前一杯づゝで元氣健康を增進す

蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を素とし補血强壯料を主成分として精製せる醇良品なり到る處の藥店酒店にあり

東京本町 近藤利兵衛



櫻御殿

第百五十七回　大阪　殿の家主人

霙月（十四）

「宗之助、宗之助」

初瀬は襖の襟の下から呼んだ。宗之助は「はッ」と答て襖へ膝り寄る。

「先刻からの提議は聞いた、何卒のお方が仰せではないが、重々お指図い、お詫び、一言お礼が申し上げたい、氣の毒ぢやが一寸起して下さらぬか」

「飛んでもない話を御仰いまし、そんな事を遊ばして、御病氣に障つたら何うなさいます、お礼はいつでも云はれます、まアお静かに御養生を遊ばしまし」

「いゝえ、明日も知れぬ身の上、今の間に云ふだけの事を云ふて置かねば、後悔する時が參るであらう、此のまゝに息は絶れても、禮儀だけは盡して置きたい、何うぞ起して下され、お頼み申す」

初瀬は云ひ馴れた女の調子を交せて云ふ、桐島は見る見る赤くなつた顔を向けて

「あなた、御無理を遊ばしては可けません、これはわたくしの生の父でございます、決してお氣の置ける者ではございませんゆゑ、やまき思召さずに在らつしやいまし、此の分なら、今の間に御全快でございませう、もう暫くの御辛抱でございます」

桐島殿か、あゝと初瀬は太い息を吐いて「あなたにも面目ない、わたしを憎い奴とも思召しませう、

せう、御親切なあなたを欺いて、斯うした旅へ御同伴申し上げた、その罰が身に報つて、その上恐しい仇敵に出遭ひました、何方へしても助い命ではあるまいと存じます、そのお詫はわたくしから致さればなりません、どうか御免下さいまし」と枕頭に兩手を支いたが、

「お父さま、わたくしの願ひをお聴き遊ばして下さいまし」

利右衛門は怖に跪い、初瀬が涙ながらに何を云ふを訝つて聞いて、病眼に露を含んで居たが

「いかさま、好い事を思ひ付いた、初瀬殿を女蝶と存せず、心に良人と許した上は、どこまでも操を守つて、お命に代らうといふ、頭白い思ひ付きぢや、一たん他人に心を許して、二度の良人も持たれまい、斯う成り行くも前世の因縁ぢや、手前が介錯致してくれう」

「夫では、お許し下さりますか」

「許さいで何とせうぞ」と利右衛門は満足氣に「初瀬殿、お聞き下されたか」

初瀬は襖の襟をしとど濡して「勿體ない、そんな事は爲きませぬ、わたくしの罪科は、わたくしが償ふ外ございません」

「いゝえ、父も既意でございます、どうぞ、わたくしをお身代りにお立て下さいまし」

一波去つて一波起る、助左衛門が蹴つたあとで、また美しい爭ひが始つた

「改つて何ぢや」と云つたや、「助左衛門殿とか申すは、ありや何人でございます」

「初瀬殿のお首級を申し受けると云うて、諸國を流浪致す者ぢや」

「それでは何うあつても初瀬様をお助け申すお心はござんすまい」

「最も左様、されど今日からは手前がお味方、成るだけは守護致す」

「ではございませうが何うやら執念深いお方らしうございます、斯様な事を重ねて、不孝を重ねる理でございますが、たとへ御女儀様にもせ、心から許して將來の良人と思ひ詰めたお方の事、わたくしがお身代りに立ちたうございます、どうぞお暇を下さりませ、初瀬様に代つて、わたくしの首をお逃げ致さうと存ます」

日報俳壇

多季雜詠

日影和む障子に飛ぶ多の蠅　末刀
沸り湯る銅壺の音や多の蠅　同
釜敷の餘温に來たり多の蠅　同
小春日やペンキ書見る懐手　同
小春日や役所の庭の軌直し　同
淺藤彩り干並ぶ店の小春哉　同
新聞紙に蠅飛ぶ驛の小春哉　同
枯芦を染むる夕日や浮寝鳥　鐵騎
推暦に向は飛び居り多の蠅　同
温突に鈍き羽音や多の蠅　同
灰に染って爐邊を飛ぶや多の蠅　同
堆肥切る熊手光るや小六月　柿實
枯れダリア「芙蓉」に浴び冬蠅　同
播普請の人数唄へる小春哉　水爾

名刺　京城　太平堂　電話二七二二　振替二三六七番

讀者の領分

▲日本人は便所へ行つて手を浄めねばならぬ程の潔癖な人種でありながら浴場にゆくとなせあんなに穢い眞似をして平氣で居られるだらう朝湯の内はまだよいが夜の九時十時以後になると湯は垢と石鹸でどろどろになつてゐる其中へみんな飛び込んで顔を洗つたり尻を洗つたりする味噌も糞も同じだと言ふが湯の中で足や股や頭を洗ひ作ら其の汚い湯で頭を洗ひ甚しきに至つては唇や眼に入るのさへ平氣で居るに至つては唖然たらざるを得ないこれは湯の中で頭を洗ふのも悪いが湯の中へ手拭をもつて入つたり穢い體を洗ふのが悪いのである市民諸君お互ひは手水に少し塵芥が入つても穢らしいと言ふ程に衛生を重んずるなら公衆衛生の爲め湯に入つた場合は少し考へたならばどうです湯壺の中には只入つて温まるだけにして手拭なんか必ず持つて入らぬ事小供は湯で温まると習慣的に小便をするものであるから湯に入る前に必ず小便させる事身體を湯の中で洗はぬ事此れ丈けは互ひに固く守つて貰ひたいそして上り湯を盛んに使つたならば湯壺の湯は比較的清らかにして置る事が出來る事と思ふ（旭町衛生家）

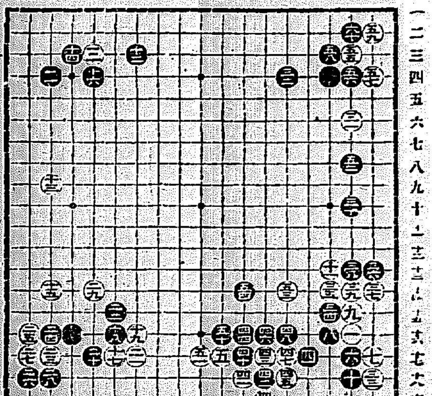
牛乳　新鮮朝夕配達　御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九

新刊紹介（到着順）

▲面白倶樂部（三月號）坂下町一二 川柔道會本部
▲魂の家（創刊號）
▲嗜好（十一の二）
▲人格と幸福（六の二）
▲琵琶新聞（二月號）
▲小學生（二月號）
▲大日本新聞（三六〇）
▲主婦之友（婦人職業號）
▲柔道（四ノ二）

碁戦

十番碁第七局（三）　三段 山平壽氏　二子 大久保雅彦氏



○四一	チの十八
●四二	トの十八
○四三	トの十七
●四四	チの十六
○四五	への十八
●四六	トの十六
○四七	への十七
●四八	への十六
○四九	トの十九
●五〇	リの十六
○五一	ヌの十七
●五二	ハの八
○五三	への十四
●五四	チの十四
○五五	ハの三
○五六	ハの四
●五七	ロの四
●五八	ニの三
○五九	リの二
●六〇	ハの二

下期朝米

△二十日後場

大引　米

と寄付八錢と探げ七錢二節中六十錢六十八錢九錢七十錢五錢三錢二一錢先八十七錢より先十錢三節先錢平均値段七十錢 九十六錢と新甫に中七△先限一節二十一圓八十七錢八錢

ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず更に「フエノールフタレイン」を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき。是を化學上の純石鹼なりとす。皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黒を貴ぶ毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て其適否を論ずべからず。

ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性狀を具備す

一、原料を精選し、爲に香料に、苟も刺戟を感ずべき處あるものを用ひず。

一、溫雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂なし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衞生に適し、經濟に合する理想的實用石鹼なり。

◎ミツワ水石鹼　定價　大壜 金五十錢　小壜 金三十五錢　内地以外は輸送費を加ふ

▼賣捌―全國到る處の化粧品店。小間物店。藥舖。洋酒食料品店

ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス

發賣元　登録商標　丸見屋商店　東京市日本橋區橘町四丁目 藥舗、化粧品、石鹼、香粧品、小間物問屋 電信略號〇ミヤ 振替貯金口座東京七二〇 營業部電話浪花二〇、四四八、四四九、四五〇

最上醬油

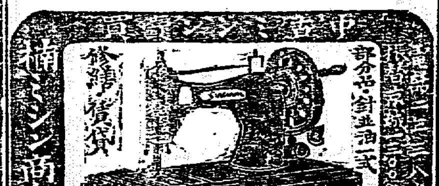
朝鮮仁川港　高杉醬油釀造場

賛化病院

京城明治町一丁目　電話二四番

内科　小兒科　入院隨意　毎日五名を限り無料施療す

醫學博士　古城憲治
岡山醫學士　上野亮藏



花柳病専門　外科

梅毒 淋病 婦人病 痳病 皮膚病 泌尿生殖器病 京城南大門通 ヒステリー 司生堂醫院 電話三〇六五番

刑妻ヨシ

病氣の處療養相叶はず昨二十日死去仕候間此段生前辱知の諸彦へ謹告候也

二月二十一日

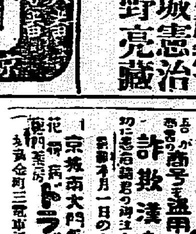
親戚總代　坪内岩吉　藤谷信太郎　二宮常一郎
友人總代　天野金次郎　三村清治　湊佐吉　白川小吉　壽秋兵太郎

寫眞　京城日報社寫眞製版部

京城本町一丁目の本紙御愛顧

りん病ばい毒

ドラッグ商會



尼崎汽船（仁川）出帆

日本郵船（仁川）出帆

釜山出帆廣告

北大同汽船（仁川）出帆

大阪商船株式會社　汽船出帆廣告

朝鮮郵船